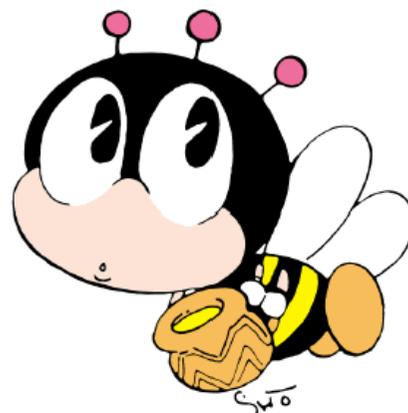


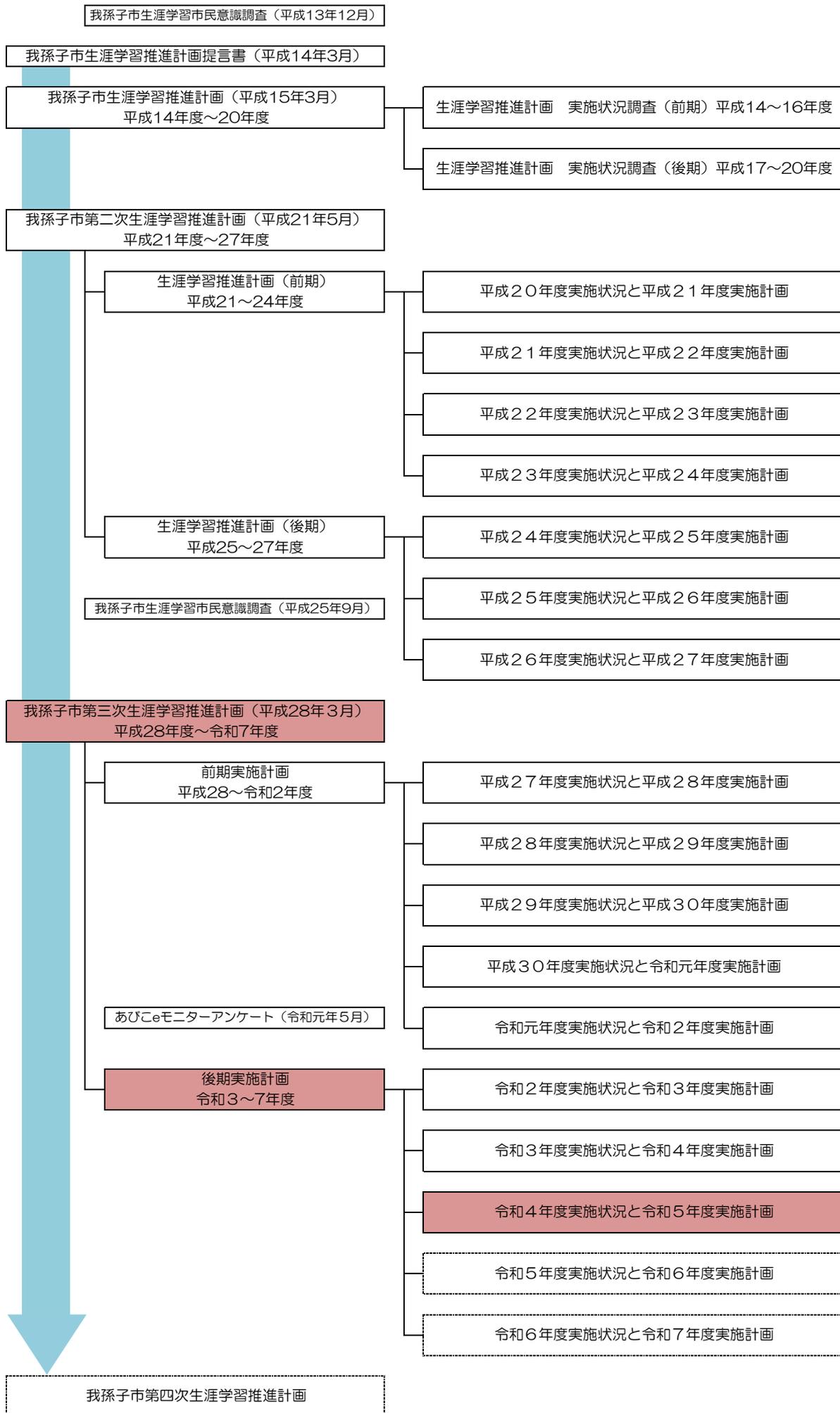
# 生涯学習推進計画 実施計画 事業調査集計表

～令和4年度及び令和5年度実施内容～



令和5年7月

# 我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ



## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり（37事業）	①学びへの情報提供体制の充実（19事業）	1 暮らしの便利帳・ガイドブックの発行	秘書広報課	1	
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1	
		3 男女共同参画情報紙の発行	秘書広報課	1	
		4 財政情報の提供	財政課	1	
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2	
		6 バリアフリー情報提供事業	障害者支援課 (障害者福祉センター)	2	
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	2	
		8 子育て支援情報の発信	保育課	3	
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	3	
		10 都市計画に関する情報の提供	都市計画課	3	
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	3	
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	4	
		14 住宅情報の総合的提供	建築住宅課	4	
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	5	
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	5	
		18 あびこ電腦考古博物館の運営	文化・スポーツ課	5	
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	6	
		20 図書館の情報化推進	図書館	6	
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	6	
		②学びにつなげるための相談体制の充実（6事業）	22 生涯学習相談体制の整備〔再掲153〕	生涯学習課	7
			23 生涯学習人材バンクの整備〔再掲129〕	生涯学習課	7
	24 生涯学習ボランティア〔再掲131〕		生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	7	
	25 視聴覚教材・機材の管理及び貸出〔再掲164〕		生涯学習課	8	
	26 図書館カウンターサービス		図書館	8	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス		図書館	8	
	③学びへの関心を高めるための啓発の充実（12事業）	28 交通安全普及啓発活動の推進	市民安全課	9	
		29 集団健康教育	健康づくり支援課	9	
		30 健康フェア〔再掲174〕	健康づくり支援課	9	
		31 廃棄物に関する教育啓発事業	クリーンセンター（手賀沼課）	9	
		32 石けん利用の推進	商業観光課	10	
		33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	10	
		34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	10	
		35 生涯学習推進委員会の運営	生涯学習課	11	
		36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	11	
		37 読書普及活動	図書館	12	
		38 図書館PR	図書館	12	
		39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	13	

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり（53事業）	①地域への関心を高める学びの機会の推進（14事業）	41	子どもの居場所づくり事業（あびっ子クラブ）〔再掲177〕	子ども支援課	14
		42	谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼課	14
		43	手賀沼船上学習の実施	手賀沼課	14
		44	手賀沼流域フォーラムの開催	手賀沼課	14
		45	ジャパンバードフェスティバルの開催〔再掲175〕	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	15
		46	地区計画制度の活用への支援	都市計画課	15
		47	我孫子産農産物の学校給食導入事業	学校教育課	15
		49	市史調査研究	文化・スポーツ課	16
		50	郷土芸能への支援〔再掲147〕	文化・スポーツ課	16
		51	文化財の指定調査と保存支援	文化・スポーツ課	16
		52	埋蔵文化財発掘調査	文化・スポーツ課	17
		53	考古遺物整理	文化・スポーツ課	17
		54	あびこ自然観察隊	鳥の博物館	17
		55	てがたん（手賀沼の自然観察会）	鳥の博物館	17
	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供（19事業）	56	子どもNPOボランティア体験	市民協働推進課	18
		57	後期離乳食教室	健康づくり支援課	18
		58	しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	18
		59	離乳食教室	健康づくり支援課	18
		60	手賀の丘フレンドシップツアー	子ども支援課	19
		61	あびこ子どもまつり〔再掲150〕	子ども支援課	19
		62	げんきフェスタ〔再掲151〕	子ども支援課	19
		64	子育て支援施設における講習	保育課	19
		65	こども議会	指導課	20
		66	長寿大学〔再掲154〕	生涯学習課	20
		67	成人式	生涯学習課	20
		68	熟年備学	生涯学習課	21
		69	家庭教育学級〔再掲155〕	生涯学習課	21
		70	のびのび親子学級〔再掲156〕	生涯学習課	21
		71	アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	22
		72	子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	22
		73	成人・青少年への図書館サービス	図書館	22
		74	児童への図書館サービス	図書館	23
		75	子どもの読書活動推進計画の進行管理	図書館	23
		③多様化・高度化する市民ニーズに対応した学習内容の充実（20事業）	76	男女共同参画講演会の実施	秘書広報課
	77		平和事業	企画政策課	24
	78		健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	24
	79		メンタルヘルス啓発講座	障害者支援課	25
	80		失語症家族教室	障害者支援課 （障害者福祉センター）	25
	81		手話講習会・読話講習会	障害者支援課 （障害者福祉センター）	25
	82		家族介護教室	高齢者支援課	25
	83		認知症の方の家族のつどい「あびこ」	高齢者支援課	26
	84		介護予防講演会	高齢者支援課	26
	85		高齢者虐待防止講演会	高齢者支援課	26
	86		遊具うんどう教室	高齢者支援課	26
	87		環境学習の推進	手賀沼課	27
	88		消費生活講座	商業観光課	27
89	緑の講習会		公園緑地課	28	
90	栄養教諭・栄養職員を中核とした食育推進事業		学校教育課	28	
91	生涯学習出前講座の運営〔再掲127〕		生涯学習課	28	
92	生涯学習推進事業	生涯学習課	29		
93	人権教育	生涯学習課	29		
95	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～〔再掲167〕	文化・スポーツ課	30		
96	鳥の博物館企画展の実施	鳥の博物館	30		

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
3 多様な学びの場のあるまちづくり (27事業)	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 (23事業)	97 市民農園維持管理事業	農政課	31
		98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	31
		100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画政策課、生涯学習課	32
		101 地域交流教室の提供	生涯学習課	32
		102 公民館施設管理運営	生涯学習課	32
		104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	32
		105 施設予約システムの運用	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民協働推進課	33
		106 市民体育館管理運営	文化・スポーツ課	33
		107 体育施設管理運営事業、維持補修	文化・スポーツ課	33
		108 武道施設の建設整備の検討	文化・スポーツ課	33
		109 市民体育館維持補修、改修事業	文化・スポーツ課	33
		110 学校体育施設開放事業	文化・スポーツ課	34
		111 ふれあいキャンプ場管理運営	文化・スポーツ課	34
		112 文化財等の保存と活用	文化・スポーツ課	34
		113 杉村楚人冠邸の保存と活用	文化・スポーツ課	35
		114 旧井上家住宅の保存と活用	文化・スポーツ課	35
		115 白樺文学館の運営	文化・スポーツ課	35
		117 移動図書館業務	図書館	36
		118 図書館の整備	図書館	36
		119 図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館	36
		120 鳥の博物館管理運営	鳥の博物館	37
		122 鳥の博物館展示リニューアル	鳥の博物館	37
		186 文化財保存活用地域計画の推進	文化・スポーツ課	37
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 (4事業)	123 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	38	
	124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	文化・スポーツ課	38	
	125 手賀沼エコマラソン支援事業【再掲148】	文化・スポーツ課	38	
	126 市外図書館・大学・関係機関との連携協力【再掲183】	図書館	38	
4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり (17事業)	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充 (6事業)	127 【再掲】生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	39
		128 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	39
		129 【再掲】生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	39
		130 アビスタ利用者保育スタッフ事業	生涯学習課	39
		131 【再掲】生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	39
		132 文化事業市民スタッフの活用	文化・スポーツ課	39
	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充 (6事業)	133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	40
		135 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	40
		136 子育てサポーター養成講座	保育課	40
		137 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	41
		138 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	41
		140 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	41
	③学んだ成果を評価するしくみの構築 (5事業)	143 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	42
		144 文化祭	文化・スポーツ課	42
146 めるへん文庫		文化・スポーツ課	42	
147 【再掲】郷土芸能への支援		文化・スポーツ課	42	
148 【再掲】手賀沼エコマラソン支援事業		文化・スポーツ課	42	

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
5 学びでつな がるまちづ くり（37事 業）	①学びによる 仲間づくりや 交流等の コーディネー ト機能の充実 (8事業)	149 市民のチカラまつりの実施	市民協働推進課	43
		150 <b>【再掲】</b> あび子どもまつり	子ども支援課	43
		151 <b>【再掲】</b> げんきフェスタ	子ども支援課	43
		152 学校支援事業の充実	指導課	43
		153 <b>【再掲】</b> 生涯学習相談体制の整備	生涯学習課	43
		154 <b>【再掲】</b> 長寿大学	生涯学習課	43
		155 <b>【再掲】</b> 家庭教育学級	生涯学習課	44
		156 <b>【再掲】</b> のびのび親子学級	生涯学習課	44
	②新たなつな がりを生み出 す団体等へ の支援・育成 (13事業)	158 在住外国人支援事業	企画政策課	44
		159 公募補助金制度の運用	市民協働推進課	45
		160 市民公益活動補償制度の運用	市民協働推進課	45
		161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター(手賀沼課)	45
		162 我孫子市創業支援等事業	企業立地推進課	46
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	47
		164 <b>【再掲】</b> 視聴覚教材・機材の管理及び貸出	生涯学習課	47
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	47
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	47
		167 <b>【再掲】</b> スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	47
		168 施設・団体への図書等の貸出サービス	図書館	47
		169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	48
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	48
	③多様な学 びの活動を つなぐネット ワークの構築 (16事業)	171 我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	企画政策課	49
		172 消費生活展の実施	商業観光課	49
		173 エンジョイ手賀沼	手賀沼課	49
		174 <b>【再掲】</b> 健康フェア	健康づくり支援課	49
		175 <b>【再掲】</b> ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課、商業観光課、 鳥の博物館	49
		176 青少年相談員連絡協議会への支援	子ども支援課	50
		177 <b>【再掲】</b> 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)	子ども支援課	50
		178 子育てフェスタ	保育課	50
		179 学校評議員設置事業	学校教育課	51
		180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	指導課	51
		181 キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)	指導課	52
		182 生涯学習審議会の運営	生涯学習課	52
		183 <b>【再掲】</b> 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	52
		184 図書館実習生受入・施設見学	図書館	52
		185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	53
		187 学校運営協議会制度の活用	指導課	53

 進行管理が行える計画あり 9事業(うち再掲3事業)

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり			基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		
①学びへの情報提供体制の充実		①学びへの情報提供体制の充実			①学びへの情報提供体制の充実		
1	暮らしの便利帳・ガイドブックの発行 市民や転入者に行政サービスや公共施設の利用案内などの市政情報を提供する。	●暮らしの便利帳 ・令和2年度からホームページのみで公開しているが、インターネットでの情報が増えていること、他の情報誌でも同様の情報が得られることから、令和5年度中に終了予定。 ●ガイドブック「ABI ROAD」 ・改訂や増刷はないが、引き続き県内外の観光情報発信拠点、東葛地区の不動産店舗・大型スポーツショップ等に配置しており、無くなった場合に在庫から補充している。  ◇◆指標と実績◇◆ ●ガイドブック「ABI ROAD」 令和4年度は増刷なし	A. 成果・効果があった ・年度中に補充の要望があり、需要は高いと考えられる。 在庫の確保	A. 現状どおり推進 暮らしの便利帳は令和5年中にホームページの掲載も終了する。	なし	秘書広報課	
2	広報「あびこ」の編集・発行 市民が必要としている行政情報などを、わかりやすく、正確に、確実にお知らせする。	【広報あびこ発行部数】 令和4年4月16日号～令和5年4月1日号 24回 各41,000部 前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めた。特に新型コロナウイルス関連情報は、最新の内容となるよう担当課と調整しながら、常に最終面に掲載した。 ●広報あびこ 【発行回数】 月2回(1日・16日) 【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・各近隣センター・公民館・図書館・水の館・市民プラザなどの公共施設やショッピングモール・スーパーマーケットでの配布。 ※新聞購読者が減少傾向にあり、折込による配布は減、宅配による配布は増の傾向にある。 ◇◆指標と実績◇◆ 【広報あびこ発行部数】 令和4年4月16日号～令和5年4月1日号 24回	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス関連、施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。	A. 現状どおり推進 市民と市が情報を共有するためには、市政や市民の暮らしに関する情報を提供している広報あびこの発行は現状どおり推進する必要がある。	なし	秘書広報課	
3	男女共同参画情報紙の発行 男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	※担当課の進行管理による				秘書広報課	
4	財政情報の提供 広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。	●広報あびこ 《4月》 令和4年度 当初予算の概要 《5月》 令和3(2021)年度 予算の執行状況 《10月》 令和5年度 予算編成方針を策定 《11月》 令和3年度決算と令和4年度上半期の収支状況 《3月》 令和3年度一般会計等財務書類4表 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ◇◆指標と実績◇◆ 【ホームページ閲覧数】28,002件	A. 成果・効果があった ・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。	A. 現状どおり推進	なし	財政課	

基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	5	食に関する情報の提供及び啓発の充実  食に関する正しい知識を得て、おいしく楽しく食事する人を増やすために、食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食品を選択する際の情報源である食品表示(栄養成分表示など)についても、引き続き出前講座や我孫子市食育だよりなどで啓発を行う。	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。 食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動に加えて、がん集団検診の会場でパネルやフードモデルを用いて啓発活動を実施する。また、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行った。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行う。 ●食育だより 【発行】4回/年 【配布枚数】12,800枚/号、これに加え、がん集団検診で配布 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」並びに「メタボを防ごう！肥満解消！時短簡単クッキング！」(調理実習)の設定があったが、利用者はなかった。 ●がん集団検診での啓発展示 令和4年度に実施した集団検診(胃がん検診・乳がん検診・子宮がん検診)の会場で啓発展示を行った。 ◇◆指標と実績◇◆ 【食育だより発行枚数】58,375枚 【出前講座等参加者】本講座に参加し学習したことを、今後、活用・実行できそうか ※利用者がなかったため実績なし	A. 成果・効果があった  ・食育だよりの配布により日頃健康づくり支援課の事業への参加が少ない小・中学校に通う児童・生徒を持つ保護者に情報提供を行うことができた。  ・実践につながりやすい情報の提供ができる場である喫食を伴う講座等の実施に制限がかかる場合であっても有効な情報提供の方法を検討していく必要がある。	A. 現状どおり推進  近年かかっていた様々な制限が解除されていく中、コロナ禍前に実施していた喫食を伴う健康教育の再開に向け準備していく。	なし	健康づくり支援課
		6	バリアフリー情報提供事業  市民と協働で市内のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」としてまとめ、障害のある方や高齢の方をはじめ、妊娠中の方や小さなお子様連れの方など、誰もが安心して外出を楽しめるように、情報提供を行う。	市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果に基づいてホームページ「バリアフリーおでかけマップ らっく楽！あびこ」の掲載内容更新を行った。我孫子市公開型GIS「あびまっぷ」にバリアフリーマップ機能を追加し、令和5年3月末より運用を開始した。  ◇◆指標と実績◇◆ 【ホームページへのアクセス数】24,707件	A. 成果・効果があった  市内施設のバリアフリー状況調査を行い、「バリアフリーおでかけマップ らっく楽！あびこ」の更新をすることで、外出支援に寄与した。	A. 現状どおり推進	引き続きバリアフリー状況調査と情報の更新を行ってゆく。また、GIS版バリアフリーマップの広報を行って周知に努め、ホームページ版については閉鎖への準備を進めていく。	障害者支援課(センター)
		7	子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営  子どもたちが地域における様々な体験活動への参加を通して、心身ともに健やかに成長することを願い、体験活動をはじめとする様々な活動に関する情報を広く収集、提供する。	事業目的に即し必要な事業として位置づけてきたが、委託先の市民団体より担い手不足のため令和4年度以降の受託を辞退する旨の申し出があったことから、令和3年度をもって子ども向け情報紙の発行は廃止した。子ども対象イベント等についてはホームページや広報紙などにて情報発信した。 ◇◆指標と実績◇◆	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	子ども支援課

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	子育て支援情報の発信	<p>●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「保育園・幼稚園などの地域子育て支援」「マイ保育園ひろば」「ホール活動」「園庭開放」等。 子育て支援施設の地域子育て支援「出前保育」「家族であそぼう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」「Babyのお部屋」等。 ●登録制メール及び市のLINE配信サービス(子育て応援情報) 【回数】随時配信 【内容】 ・市内子育て支援施設月間お便り及び行事案内 ・あびこで子育て「公共施設イベント」情報 ・子育てサークル等のイベント情報 ●インターネット 【回数】随時更新 【内容】 ・市ホームページ「あびこで子育て」にて、イベントカレンダー・イベントレポート(ブログ) ・「あびこでパパを楽しむ」「子育て支援施設」 ・「子育て支援サービス」 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿。 ※上記を我孫子市子育て支援センターのiPadにて情報提供。 ●窓口・電話による子育て情報提供(子育てコンシェルジュ) ●子育て支援ガイドブック「わくすく」の発行 【日程】2024年4月発行予定※3月納品 【部数】9,500部 【対象】在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など ◇◆指標と実績◆◇ 【子育て応援情報登録者数】3,994件 【相談件数】691件</p>	<p>A. 成果・効果があった 利用者が必要な情報を得て活用することにより、育児不安の軽減や孤立化の防止につながっている。</p>	<p>A. 現状どおり推進 子育て支援施設で利用者が気軽に相談できる体制を整えるため、子育て支援員数の増員を進めている。</p>	「保育園等4月入園の説明会」を子育てコンシェルジュが土曜日に実施。	保育課	
	手賀沼情報の提供	<p>手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載する。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新する。 【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、水の館(1階、3階)、アビスタ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) ◇◆指標と実績◆◇ 【掲示箇所】 20箇所</p>	<p>A. 成果・効果があった 市民の目に触れるところに掲示することで目的とする情報を提供できた。</p>	A. 現状どおり推進	なし		手賀沼課
	都市計画に関する情報の提供	<p>・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」およびホームページの更新を行い情報提供を行う。 ・公開型GIS(あびマップ)の更新を行い、適切な情報の提供を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 計13,342件 (我孫子市の都市計画の概要:1,544件、高度地区の規定について:1,592件、都市計画図検索画面:10,206件)</p>	<p>A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。</p>	A. 現状どおり推進	なし		
	都市計画図等の作成・管理事務	<p>・都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【販売枚数】 58枚(都市計画図:17枚、白図:41枚)</p>	<p>A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。</p> <p>なし</p>	A. 現状どおり推進	なし		都市計画課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	12	景観形成情報発信・啓発事業  多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体の活動支援や、イベント、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。	<p>1. 「我孫子のいろいろ八景歩き」の開催 我孫子のいろいろ八景に選ばれた市内の魅力的な景観ポイントを、市民ガイドと巡るまち歩きイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を4回開催。計53人の参加があった。 ◆「我孫子のいろいろ八景歩き」開催実績(令和4年度)</p> <p>①「高野山台地の八景と古墳を巡るコース」 【実施日】10月8日(土) 【参加者】10人 ②「布佐・新木三大緑地公園コース」 【実施日】10月13日(木) 【参加者】14人 ③「マンションストリートから森を抜けるつくり野コース」 【実施日】10月20日(木) 【参加者】10人 ④「古道をたどり森と水辺が招く古利根コース」 【実施日】11月5日(土) 【参加者】19人</p> <p>2. 我孫子のいろいろ八景パネル展示 市内の公民館等の公共施設(計6施設)で、我孫子のいろいろ八景を紹介するパネルを展示。</p> <p>3. 「我孫子のいろいろ八景歩き」コースマップ等の改訂・配布 我孫子のいろいろ八景を巡る散策コースマップ(計12コース)をはじめ、我孫子のいろいろ八景に関する発行物の改訂・増刷を行い、市内・市外の公共施設等で配布した。</p> <p>4. 我孫子市公開型GIS「あびまっぷ」上で我孫子のいろいろ八景に関する情報発信 我孫子市公開型GIS「あびまっぷ」上で、我孫子のいろいろ八景に選ばれた景観ポイントの情報や市民等が投稿した市内の魅力的な景観の画像等を公開し、市民・事業者・行政による景観情報のデジタル化・共有化を図った。 ◇◆指標と実績◆◇ 「我孫子のいろいろ八景歩き」合計参加者数…53人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者アンケートの結果では、本事業は景観に関心を持っていただく上で効果があるとの回答が寄せられた(※「効果がある」…73%、「やや効果がある」…19%、「無回答」…8%)。 また、我孫子のいろいろ八景の散策コースマップは、一部の施設では設置から程なくして補充が必要になるほど好評を得ている。</p> <p>「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者を年代別に見ると、60代以上が大半を占めている。若い世代に景観に興味・関心をもっていたりするための工夫や仕掛けづくりが課題。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>「我孫子のいろいろ八景歩き」への若い世代の参加を促すため、計4回のうちの1回を日曜日に開催する予定。</p>	都市計画課
			<p>住宅情報の総合的提供</p> <p>住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクその他の住宅政策関連制度の活用促進を図る。</p> <p>●ホームページ・広報 ・市ホームページに「住まい」に関するページを設け、空き家バンクその他の住まいに関わる制度、マンション管理や住まいの安全対策等に関する情報、住まいに関わる助成・補助(若い世代の住宅取得補助金、住宅リフォーム補助金、耐震助成)について情報提供を行った。 ・住宅政策制度や相談の実施について、広報への掲載やチラシを配布して情報提供を行った。</p> <p>●住まいに関する情報提供 ・住宅相談、不動産相談(予約制/11月以降、月1回・第2金曜に実施) ・マンション問題個別相談会(予約制/6月) ・マンション管理セミナー(予約制/当日参加可/12月) (講演:長期修繕計画と修繕積立金について、役員のなり手不足対策と事例紹介) ・マンション管理アドバイザー派遣(年間1件) ・空き家バンク制度(登録受付:随時) ・空き家対策に関する情報誌の作成・配布(年1回・9月発行/2,400部) ◇◆指標と実績◆◇ 【住宅相談・不動産相談】受付件数 …指標 30件、実績 11件</p> <p>その他 ・マンション管理セミナー・個別相談会…指標なし、実績 計2回開催 ・マンション管理アドバイザー派遣 …指標なし、実績 1件派遣 ・空き家バンク制度 …指標なし、実績 平成30年3月からの累計登録数10件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>各種相談とマンション管理セミナーを通じて、専門家による情報提供を受ける機会や、セミナーの参加者同士で意見交換をする場を設けることができた。 空き家対策に関する情報提供については、空き家バンクの登録件数の増には結びつかなかったが、家を相続した際に市の発行した情報誌やチラシを見た方からの相談、問い合わせが増えてきており、相談者の状況に合わせた情報を提供することができた。</p> <p>住宅相談・不動産相談や空き家バンク、住宅リフォーム補助金の利用者は、比較的高齢の方が多く、インターネットでの情報提供が馴染まない場合がある。そのため、対面のセミナーや空き家対策情報誌の発行、電話や窓口での情報提供を引き続き行い、より丁寧でわかりやすい説明が必要となる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>内容変更なし。 (住宅相談・不動産相談については、8月を除く毎月第2金曜に開催とし、マンション管理セミナー・相談会については、コロナ以前の開催回数(年4~5回程度)に戻しているように、感染症等の状況を見ながら関係団体と調整していきたい。)</p>	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	15	水道広報活動推進事業  水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	<p>【「あびこの水道」発行部数】 41,500部 年2回の発行、臨時号の発行</p> <p>●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(No.58: 5月16日号、No.59: 11月16日号)発行 臨時号(No.60: 3月16日号)発行</p> <p>・市内では新聞折り込み等により配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ・市Webサイトに掲載</p> <p>●水道水のPR活動 ・市内のイベントや小学校の授業において、我孫水(ペットボトル水)の配布をし、水道水の安全性やおいしさについてPRした</p> <p>◇◆指標と実績◆◇</p> <p>●広報「あびこの水道」発行部数 41,500部 (年3回 124,500部)</p> <p>●我孫水 イベントでの配布数 (238箱)</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	水道局経営課
	16	生涯学習情報の発信  各課で実施する生涯学習に関連する事業について、「生涯学習情報」や生涯学習のホームページ、ブログ及びSNS(Facebook、ツイッター)、市のメール配信サービスなどを活用し、より広く情報の発信を行う。	<p>●ホームページ 生涯学習に関連するイベントを生涯学習のページ「学び・生涯学習」で紹介。</p> <p>●生涯学習情報 生涯学習の情報紙として発行。 【発行回数・部数】 1回(43号) 【配付先と設置場所】 教育委員会、市役所本庁ロビー、水の館、アビスタ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、市民体育館、市内近隣センター、行政サービスセンター、市民プラザ、アビシルベ、 【発行月】3月 【内容】「スポーツドリンクを作ろう」、公民館学級・講座の紹介、アビスタ本館図書館展示の紹介、コホミン(文部科学大臣表彰受賞)について、杉村楚人冠の紹介、鳥の博物館標本3Dデータ化について</p> <p>◇◆指標と実績◆◇</p> <p>【生涯学習トップページのアクセス数】4422件</p>	C. 未実施・わからない	B. 改善・見直しを行う	【発行回数・部数】1回に変更。また1回の発行部数を増やした。	生涯学習課
	18	あびこ電腦考古博物館の運営  我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。	<p>今年度も継続して、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財、刊行物などの情報更新を行った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇</p> <p>【ホームページ閲覧数】 361,919件</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり ① 学びへの情報提供体制の充実	19 図書館における郷土・行政資料サービス 多くの市民に我孫子市や千葉県の郷土や行政に関心を持ってもらうため、郷土・行政資料の収集・保存・提供に努め、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。我孫子市の資料については、アビスタ本館が中心となり、収集・保存する。	○我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供した。我孫子資料については、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存した。 ○白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講座の開催を行った。 ○「我孫子を調べる」を改訂し発行した。 ＜事業＞ ○杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント ①・テーマ：第11回楚人冠講座「楚人冠の青少年時代」・日程・講師：8月11日（祝水）杉村楚人冠記念館学芸員・場所：アビスタ第二学習室・参加者：20人 ②・テーマ：第12回楚人冠講座「楚人冠邸に生えたキノコ」・日程・講師：12月10日（土）杉村楚人冠記念館学芸員、図書館市民スタッフ（対面朗読担当）・場所：アビスタ第二学習室・参加者：15人 ＜企画展示＞ ○「竹内神社例大祭と地域の祭り」 令和4年5月25日（水）から6月6日（月）まで、野崎信一作品 ◇◆指標と実績◆◇ 【郷土行政資料（我孫子資料・千葉県資料）の年間貸出冊数】 3,269冊（前年度比 101.2%）	A. 成果・効果があった 我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供することにより、市民が郷土への理解を深め、愛着をもって生活し、主体的に行政に関わるための一助となった。また、市の文化施設と連携することにより、郷土資料の充実及び事業のPR・共同開催を図り、互いに利用を促進することができた。 「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営にあたっては、今後も白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携していくことが欠かせない。他の市内文化施設とも連携して展示や資料提供の工夫をしていく必要がある。また、ホームページの郷土特集ページ「我孫子を知ろう！」を適宜追加・見直しを行っていく。	A. 現状どおり推進 郷土資料の買い替えや複本の購入を進め、市役所各課と連携することで、我孫子市でしか入手できない資料を収集・保存・提供できた。我孫子市として後世に伝えていくべき文化遺産を今後も収集・保存・提供していくため、引き続き推進していく。いままでも蓄積した郷土に関するレファレンスをまとめ、ホームページに追加していく。	なし	図書館	
	20 図書館の情報化推進 図書館の電算システム等を運用し、市民の利便性の向上を図るとともに、過去の出来事や事件を手軽に調べることができる新聞の有料データベースにより情報提供を行い、知る自由を保障する。	○令和4年1月に更新した新たな図書館電算システムでは、インターネット及び館内検索コンピュータからの予約（リクエスト）に必要なパスワード登録を利用者自身が行えるようになり、利便性が向上した。また、従来のパスワード登録対象者を中学生以上としたものを変更し、0歳からできるようになった。 ○図書館電算システム及び事務機器を運用し、マニュアルを作って全職員に周知し、適宜改良を加えて職員の意思統一に役立っている。 ○館内検索コンピュータの一部にインターネットが使用できる端末を導入し、利用者サービスに努めた。 ○新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努めた。 ○新システム機能を利用した新たなイベント「読書マラソン大会」を年3回開催し、利用者の読書活動促進を図った。 ○貸出期限票をレシート出力し、利用者の利便性を向上させた。 ○新システム機能を利用してスマートフォンで図書館利用カードを使用できるようにし、利用者サービスを向上させた。 ◇◆指標と実績◆◇ 【インターネット及び館内検索コンピュータからの予約（リクエスト）受付件数（年間）】 93,874件（前年度比 94.7%）	A. 成果・効果があった 高度なレファレンス（調べもの）に対応するため、外部データベースの導入及びインターネットの活用は必要不可欠だった。令和4年1月の図書館電算システム更新に伴い、パスワード登録対象者の変更を行ったことにより、前年度と同程度のパスワード登録があった。予約システムを利用するの受付件数については、我孫子市在住者に限った利用にため館内検索コンピュータからの受付件数が減少した。 我孫子市在住者に限定の利用としたパスワード登録や予約（リクエスト）サービスを更にPRし、十分に活用してもらう必要がある。	A. 現状どおり推進 利用者に新たな図書館電算システムを利用してもらうため、継続的に適切な運用をしていく。読書マラソン大会を定期的に開催し、特に利用が少ない若年層のパスワード登録者の増加を図る。	なし	図書館	
	21 鳥の博物館ホームページの運営 鳥の博物館専用ホームページを運営し、鳥の博物館のイベント情報、企画展のお知らせ等、博物館事業の情報提供を行う。	鳥の博物館で実施する企画展やイベント情報など最新情報を発信した。また、鳥の3Dデータ等の公開を行い、鳥のサイエンストークでは見逃し配信も行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【鳥博トップページアクセス数】 54120回	A. 成果・効果があった 全国に広く鳥博の展示・イベント情報を発信するほか、ショップグッズについてもオリジナル商品を紹介し、多くの人に鳥博を知ってもらうことができた。 更に多くの方に鳥の博物館HPを見てもらい、来館してもらえるよう工夫をする。	A. 現状どおり推進 より魅力ある情報を発信していく。	なし	鳥の博物館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
②学びにつなげるための相談体制の充実							
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	22	<b>生涯学習学習相談体制の整備</b> 生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。 各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。 《出前講座メニュー表》 【発行日】令和4年7月1日 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール ◇◆指標と実績◆◇ 人材情報、団体・グループ情報(ホームページ)へのアクセス数 2,122件	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴い、今まで利用がなかった団体からも申し込みが、徐々に利用数が増加した。また、講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課	
	23	<b>生涯学習人材バンクの整備</b> 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、3年ごとに定期更新を行い最新の情報へ更新する。また、随時登録募集を行い、情報数を増やすとともに、問い合わせに対し迅速に回答できるようデータ管理をした。 【令和4年度末 人材情報登録件数】 65件 【令和4年度末 団体・グループ情報】 112団体 ◇◆指標と実績◆◇ 【新規登録件数】 人材情報 2件 団体情報 1団体	A. 成果・効果があった 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方から多数の問い合わせがあり、登録者・登録団体をを紹介することで活動を始めようとする市民を支援した。	A. 現状どおり推進 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」を3年毎に更新する。次回令和6年度予定。事務事業の見直しにより結合され令和4年度からは結合後の事務事業「生涯学習の推進」の中で一体的に推進していく。	なし	生涯学習課	
	24	<b>生涯学習ボランティア</b> 市民が持っている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図った。 《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) あびっ子クラブサポーター 150人 《保育課》 子育てボランティア 1人 子育て支援サポーター 48人 インターンシップ 0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 《指導課》 学校支援ボランティア 延32,497人 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 27人 旧村川別荘ボランティア 27人 白樺文学館 演奏ボランティア 31人 白樺文学館 朗読ボランティア 0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 21人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 13人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 11人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 44人、7団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 15人 ◇◆指標と実績◆◇ 【令和4年度 ボランティア登録数】 《個人登録数》 344人 《団体登録数》 26団体	A. 成果・効果があった 多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習を推進した。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課他6課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点			
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	②学びにつなげるための相談体制の充実	25	<b>視聴覚教材・機材の管理及び貸出</b>  現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理して有効活用するとともに、視聴覚教材及び機材を保全し、これらの貸出業務をもって、市民の生涯学習活動を支援する。	保有する機材・教材を有効活用し、貸し出しを行う。 ●視聴覚教材及び機材の貸出(通年) 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者 【視聴覚機材利用件数】 31件 【視聴覚教材利用件数】 ・16ミリフィルム:1件 ・ビデオソフト:0件 ・DVD:17件 合計 0件 ●機材・教材保有状況 ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンプセットなど約15種類の機材 ・16ミリフィルム:325本 ・ビデオソフト:253本 ・DVD: 232本  ◇◆指標と実績◆◇ 【視聴覚ライブラリー利用件数(機材・教材の合計)】 31件(団体・個人)	A. 成果・効果があった 定期的を使用している団体があり、コロナ禍でも一定の需要があった。また、新型コロナウイルス感染症の減少に伴い、夏休み期間中の学童保育にてDVD・16ミリフィルムの貸し出しがあった。	A. 現状どおり推進 家電製品やインターネットが一般家庭に普及したことで、機材の貸出は減少傾向になってきているが、防災訓練や自治会、市民団体の研修時などで定期的を使用している団体があり、コロナ禍でも一定の需要があったため、新たな機材や教材の購入は行わず、現状通り推進していく。	なし	生涯学習課
		26	<b>図書館カウンターサービス</b>  図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	○図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。 ○図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館した。また、アスタ本館は午後8時まで閉館した。 ○窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。 ○利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。 * 予約サービスを我孫子市民(および市と共同利用の協定を締結している取手市・利根町)のみに限定。 パスワード登録も上記以外は中止。  ◇◆指標と実績◆◇ 【相談業務受付件数】 34,078件(前年度比 104.2%) 【年間貸出冊数】 924,715冊(前年度比 102.8%) 【年間貸出利用者数】 255,517人(前年度比 107.1%)	A. 成果・効果があった コロナ禍は完全に抜けきっていないが感染拡大に注意しながらサービスを行った。幅広く奥深い調査研究への援助等も自主的な学習活動の充実には必要不可欠だった。前年度から予約サービスを制限したことで、人気のある本を我孫子市民により早く提供できるようになり、リクエストの連絡や用意の事務が軽減でき職員が別の業務に時間をさけるようになった。	A. 現状どおり推進 市民が学びたい時に学べる学習機会の充実には必要であり、今後も引き続き推進していく。	なし	図書館
		27	<b>図書館利用に障害のある方へのサービス</b>  録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	○ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デジ録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行った。 また、ハンディキャップサービスのPRを行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》 54回 《郵送貸出サービス(デジ録音図書含む)》 1,239回 《宅配サービス》 163回 《窓口でのデジ録音図書貸出》 829点 合計 1,456回、829点	A. 成果・効果があった 様々なサービスを提供することによって、ハンディキャップがある市民に対して、学びたい時に学べる機会を提供し、「知る権利」を保障することができた。新規の宅配サービスが2件増になり、利用が伸びた。	A. 現状どおり推進 様々なハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するためにPR等の工夫をし、一層の利用促進に努め、個々のハンディキャップに合わせた対応を行う必要がある。	なし	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
③学びへの関心を高めるための啓発の充実							
基本目標 1 ③学びへの関心を高めるための啓発の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	28	交通安全普及啓発活動の推進 警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全普及啓発を図る。	保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習を行った。 また、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに、交差点での横断の仕方、自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償などを学習した。 【日程・対象・参加者数】 <4月～2月実施> 延べ実施校等：保育園・幼稚園 3園・小学校 7校・中学校 3校・高校 2校 延べ開催回数：39回 参加人数：2,657人 ◇◆指標と実績◇◆ 【交通安全教室延べ開催回数】 39回	A. 成果・効果があった 令和4年の我孫子市の交通事故発生件数は212件（前年から23件減少） うち自転車事故の発生件数は52件（前年から12件減少）	A. 現状どおり推進 引き続き、警察署、交通安全協会と連携し、交通安全普及啓発に努める。	なし	市民安全課
	29	集団健康教育 保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。	集団でのがん検診等の場（子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診）で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。 【内容】がん、禁煙、COPD、歯の健康、ロコモティブシンドローム等 【場所】保健センター 【参加者（延べ人数）】延べ実施人数7,541人（集団：子宮頸がん検診2,203人、乳がん検診3,149人（マンモグラフィ検査2,469人、超音波検査680人）、胃がん検診1,766人、骨粗しょう症検診423人） ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者（延べ人数）】 7,541人	A. 成果・効果があった 疾病の一次予防の推進を図ることができた と考える。  集団検診での健康教育のみの効果評価が難しい。	A. 現状どおり推進 集団検診での健康教育は、定期的に一定人数に啓発できる場であり、内容検討しながら継続実施とする。	なし	健康づくり支援課
	30	健康フェア 健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。 【日程】令和4年11月20日（ストリートへのパネル展示は11月14日～20日） 【場所】アビスタ 【主催】健康フェア実行委員会（医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等） 【内容】テーマ「おうちでもできる健康づくり」 スポーツウェルネス吹矢、ポールウォーキング体験、日常生活に取り入れたい簡単な体操、しあわせ朝ごはん（朝ごはんのレシピ紹介等）、健康うまいものマルシェ、お口の健康チェック（簡易検査キット等）、薬剤師による相談コーナー、身体測定コーナー、ロコモティブ・シンドローム（講義）、大腸がんクイズラリー、我孫子医師会 健康メモ（展示）、笑顔倍増！肩こりすっきり体験 等 ◇◆指標と実績◇◆ 【来場者アンケート：「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合】 93.9%	A. 成果・効果があった 雨のため来場者が例年より少なかったが、参加により健康への意識が高まった方の割合も高く、市民に健康づくりを周知できたと考えられる。  なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
	31	廃棄物に関する教育啓発事業 我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	《長寿大学》 【日程】令和4年6月30日（木）10:00～12:00 【場所】湖北地区公民館 【内容】「ごみと資源」その他事前質問に回答 【参加者】長寿大学 1学年（49期生） 49名  【日程】令和4年7月21日（木）10:00～12:00 【場所】湖北地区公民館 【内容】「ごみと資源」その他事前質問に回答 【参加者】長寿大学 3学年（47期生） 36名  《出前講座・講師派遣》 【日程】令和5年2月26日（日）13:00～17:00 【場所】湖北台近隣センター 【内容】出前講座メニュー「ごみと資源」 【参加者】我孫子シニアクラブ連合会女性委員会 40名 ◇◆指標と実績◇◆ 【最終処分量】 実績2,663t （目標値3,314t）	A. 成果・効果があった 【最終処分量】2,663t 124%	C. 廃止・休止 ごみに関する所管課が分かれたため出前講座メニューを廃止、これに類する講師派遣も廃止。		クリーンセンター（手賀沼課）

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いっでも情報を得られ、相談できるまちづくり	32	石けん利用の推進  石けんの利用を通して、私たちの生活と環境とのかかわりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化など環境改善につなげる。	<p>●せっけん学習会 《手賀沼流域フォーラム》 【日程】7月17日【場所】アビスタ工芸工作室【参加者数】36人</p> <p>●イベント参加 《ママへのごほうびフェスタ》 こねこねせっけん作り、プリプリせっけん作り 【日程】9月24日【場所】アビクオーレ1階正面エントランス【参加者数】78人</p> <p>《第47回我孫子市消費生活展》 消費生活展において、石けん啓発用パネルの展示 【日程】令和5年2月4日、5日【場所】あびこ市民プラザ【参加者】516人</p> <p>《消費生活パネル展》 消費生活展において、石けん啓発用パネルの展示 【日程】令和4年8月1日～11日【場所】アビスタストリート【参加者】1600人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 2230人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>石けん学習会においては、親子で参加することで、コミュニケーションの場として、学ぶことの楽しさを提供することができた。また、石けんに興味をもってもらうことができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、日常生活の回復に向かい、これまで実施していた事業を推進すべきと考えている。</p>	なし	商業観光課
	33	小学校『歯磨き・食育指導』事業  乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	<p>・市内各小学校の児童に対し、1～2学期を中心に各教室で講話を実施。</p> <p>【実施回数】69回 【場所】市内小学校13校 【参加者】2,043人 ◇◆指標と実績◆◇ 【給食後の歯磨きを実施している学校数】 7校</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>新型コロナウイルス感染症が流行している中、令和4年度の歯科指導は飛沫防止のため歯磨き実習を行わず、小学3年生と5年生は必修で講和のみ実施した。学校からの希望があれば他の学年も実施した。 感染症予防対策ができる学校は、給食後の歯磨きは継続しているが、できない学校が多い中、健康教育を行い、児童に意識付けを行うのに有効であった。</p> <p>各校での給食後の歯磨きは、飛沫の関係上、学校長の判断により児童生徒に対する水道の数等の関係で、学校全体での取り組みができないところが多かったが、希望する児童がいる学校は給食後の歯磨きに取り組む学校が令和3年度よりは増加した。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策（飛沫予防）のため、来年度も引き続き講話のみの歯科指導を3年と5年に行う。学校からの希望があれば、他の学年も講話のみの歯科指導を実施する。</p>	なし	学校教育課
	34	生涯学習推進計画事業実施状況調査  市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進行管理や調整を行う。	<p>第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の令和4年度実施状況の具体的内容や成果・課題、また、令和5年度の実施予定内容など関連事業の調査を行った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【事業評価結果】 令和3年度 A成果・効果があった 135事業 Bあまり成果・効果がなかった 12事業 C未実施・わからない 10事業</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>生涯学習に係る事業の進捗状況を把握することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	生涯学習課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるま	35	生涯学習推進委員会の運営	<p>※平成10年に「我孫子市生涯学習推進本部設置要綱」を制定してから20年以上が経過し、生涯学習に係る取組が全庁的に浸透してきたことに加え、事業の効率化・見直しを図る観点から、組織の簡素化の一環として同要綱を廃止し、その趣旨を継承する「我孫子市生涯学習推進委員会設置要綱」を令和2年5月1日制定した。委員会の構成は、企画課、市民活動支援課、健康づくり支援課、子ども支援課、手賀沼課、クリーンセンター、都市計画課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館の12課。</p> <p>●生涯学習推進委員会会議            &lt;第1回&gt;【日程】令和4年11月16日(水)(書面開催)            議題            ・令和3年度及び令和4年度 実施計画事業調査について</p> <p>◇◆指標と実績◇◆            【委員会開催数】1回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>第三次生涯学習推進計画 実施計画に基づく事業を行っている中で、各課が抱える問題に対して情報共有を図ることができた。</p>	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
		<p>生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子どもから大人まで多くの方々にスポーツの体験機会を提供でき、スポーツの振興・普及に繋げることができた。また、地域のスポーツ団体、プロスポーツチームと連携して事業を実施することで、安全・安心な運営、市やチームのPRをすることができた。</p> <p>総合型地域スポーツクラブにおいては、会員の高齢化が進み会員数も減少していることから、持続可能なクラブ運営のための改善が必要である。</p>	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	
36	健康スポーツ普及事業	<p>●ボールゲームフェスタの開催            【日程】令和5年3月5日(日)【場所】我孫子市民体育館            【対象者】            午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者            午後小学1年生から小学6年生までの児童、生徒</p> <p>●総合型地域スポーツクラブ            ・市内6つのクラブにおいて、ペタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動する。            ・各クラブは毎週土曜・日曜日を中心に活動している。            ・各クラブの活動の他に6クラブ交流連絡会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民のチカラ祭りにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツのデモンストレーションを行う。</p> <p>●スポーツ協会の委託事業            &lt;市民体育大会&gt;【出場種目数】15競技            &lt;チャレンジスポーツフェスタ&gt;【日程】10月1日(土)【会場】市民体育館</p> <p>●新春マラソン大会            【日程】1月29日(日)【会場】湖北台中学校周辺</p> <p>●ファミリースポーツテスト            【日程】11月19日(土)【会場】市民体育館</p> <p>●スポーツ指導者養成講習会            【日程】令和4年12月3日(土)・11日(日)・17日(土)の3日間【会場】教育委員会大会議室他            【対象者】日本スポーツ協会公認資格である「スポーツリーダー」の資格取得を目指す市民及び、有資格者のうち我孫子市独自講義を受講する市民</p> <p>◇◆指標と実績◇◆            ●総合型地域スポーツクラブ            【会員数】376人            ●イベント参加者数            &lt;市民体育大会&gt;【参加者】4,429人            &lt;チャレンジスポーツフェスタ&gt;【参加者】377人            &lt;新春マラソン大会&gt;【参加者】1,105人            &lt;ファミリースポーツテスト&gt;【参加者】99人            ●スポーツ指導者養成講習会【受講者】20人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子どもから大人まで多くの方々にスポーツの体験機会を提供でき、スポーツの振興・普及に繋げることができた。また、地域のスポーツ団体、プロスポーツチームと連携して事業を実施することで、安全・安心な運営、市やチームのPRをすることができた。</p> <p>総合型地域スポーツクラブにおいては、会員の高齢化が進み会員数も減少していることから、持続可能なクラブ運営のための改善が必要である。</p>	A. 現状どおり推進	なし		文化・スポーツ課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
ちびくろ	37	読書普及活動 依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことによって、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	<p>○出前講座として、「大人が楽しむおはなし会」(成人・高齢者向けに絵本や紙芝居の読み聞かせ、語りなどを行う)を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行った。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣した。</p> <p>○「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」は新型コロナウイルス感染症に注意しながら実施した。</p> <p>○健康づくり支援課事業である新生児・乳児全戸訪問時に赤ちゃん向けブックリストを配布できるように依頼した。</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <p>○出前講座「大人が楽しむおはなし会」(2回)</p> <p>○職員派遣(4回)</p> <p>○離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ(月1回)</p> <p>○出張おはなし会(1回)</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの実施回数(年間)】 19回(前年度 13回)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民が集う施設へ赴き、読み聞かせ等を行うことにより、多くの市民の読書への関心が高まった。特に、「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」は、乳児と保護者に読書の大切さを伝える貴重な場であり、子どもの読書活動を推進するうえで、必要不可欠な事業と考える。読書普及において効果があった。</p> <p>市民スタッフ(読書普及担当)を育成し、協働して、読み聞かせや読書案内の内容等を充実させる必要がある。また、修了後の地域活動についてもケアしていく必要がある。市民の対象を乳幼児とその保護者向けだけでなく妊婦に対する読書普及方法を検討していく。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民の読書への関心を高め、図書館利用を促進するために必要不可欠な事業であるため、今後も引き続き推進していく。</p>	なし	図書館
			<p>A. 成果・効果があった</p> <p>図書館資料の予約受付総数のうち、約76%が図書館ホームページを使ったオンライン予約であり、図書館検索・予約サービスを含む図書館ホームページに対する利用者のニーズの高さが確認された。</p> <p>ホームページの作成及び、「たんた新聞」やブックリストといった各種刊物の企画・編集・印刷・製本等には、まとまった作業時間の確保が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>図書館のPR及び情報提供においてホームページは有効な手段であるため、新規利用カード登録者に対するホームページの利用を促進するとともに、利便性の高いホームページとなるよう努めながら、今後も引き続き改善・推進していく。</p>	なし	図書館	
基本目標 1 ③	38	図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	<p>○図書館のホームページを作成し、所蔵検索などのインターネットサービスを提供したほか、利用促進のためのPR及び情報提供を行った(イベント案内、お知らせなど)。</p> <p>○市役所のホームページにスタッフ募集や各種イベントの記事を掲載した(おはなし会、展覧会、読書講演会、科学実験講座、読書マラソン大会など)。</p> <p>○Facebookに各種イベントの記事を掲載した。</p> <p>○館内特集コーナー・展示コーナーで毎月資料やポスターなどを展示した。</p> <p>○広報あびこへの記事提供を行った(「ミニギャラリー」、「図書館員が選ぶこの一冊」、各種イベント記事など)。</p> <p>○事業・イベントをPRするポスターやチラシを作成した。</p> <p>○各種刊行物の企画・編集・発行を行った(「我孫子市の図書館」、「男女共同参画図書リスト」、「たんた新聞」、年齢別・学齢別ブックリストなど)。</p> <p>○読書推進用我孫子市民図書館オリジナル「読書ノート」の配布を行った。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【図書館ホームページの年間アクセス数】 420,971件(前年度 766,810件) ※新ホームページからアクセス数カウントの方法が変更となった。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>ホームページの作成及び、「たんた新聞」やブックリストといった各種刊物の企画・編集・印刷・製本等には、まとまった作業時間の確保が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>図書館のPR及び情報提供においてホームページは有効な手段であるため、新規利用カード登録者に対するホームページの利用を促進するとともに、利便性の高いホームページとなるよう努めながら、今後も引き続き改善・推進していく。</p>		なし

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	39	<b>鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動</b>  鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家による講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察・体験の機会を提供するため、身近な材料でできる工作や、観察・体験を中心に実施する。	<b>●講演・講座</b> <<鳥博セミナー>> 例年鳥の博物館2階レクチャールームを会場として実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策の為にインターネットを利用したオンライン形式で実施した。 【日程】10月1日(土)【最大同時視聴者数】88人  <<ゲストトーク>> 毎年ジャパンバードフェスティバル中に開催している。令和4年度は会場が手賀沼公園と我孫子駅南口となったため中止した。  <b>●イベント</b> <<夏の遊びと研究大集合！>> 8月6日から8月28日までの土日13:30～15:30に全8回実施 【参加者数】合計267人  <<親子の日>> アピスタで鳥の博物館参加イベント「とりのはくぶつかん 実物大！つばさのうちわをつくろう」を実施した。 【日程】7月24日(日)12:30～14:30 アピスタ 【参加者数】137人  ◇◆指標と実績◆◆ 【参加者数】 <<講演・講座>> 1026人 <<夏の遊びと研究大集合！>> 267人 <<工作イベント>> 137人	<b>A. 成果・効果があった</b>  各講座では鳥に関する興味深い話を各分野の専門家から直接聞く機会を設けることができ、オンライン開催を行うことにより定員や距離に関係なく、多くの方に視聴してもらうことができた。可能なものは見逃し配信も行った。 市民スタッフの活動も一部再始動するまでにはいたらなかったが、小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた。	<b>A. 現状どおり推進</b>	なし	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり				基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	
①地域への関心を高める学びの機会の推進		①地域への関心を高める学びの機会の推進				①地域への関心を高める学びの機会の推進	
41	子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)  放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	※担当課の進行管理による					子ども支援課
42	谷津ミュージアムづくり推進事業  手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつつの農村環境の復活を目指す。	●谷津の自然観察会 【日程】 7月24日(日) 参加人数:24人 7月31日(日) 参加人数:40人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)  ●谷津の自然観察会(近隣小学校2校) 季節ごとに自然観察会を実施 計8回 参加者 計472名 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ◇◆指標と実績◆◇ 【谷津ミュージアム内の維持管理作業等参加者延べ人数】 2,470名	A. 成果・効果があった  各自然観察会や維持管理作業を通して、谷津ミュージアムの維持管理を行うボランティア団体の会員拡大に繋がった。  ボランティアの高齢化によるイベント関連の取り組みがいつまで持続できるのか、また、それに対して新たなボランティアをどのようにして募集するのかが課題。	A. 現状どおり推進	なし		手賀沼課
43	手賀沼船上学習の実施  遊覧船で手賀沼を一周しながら小学生や市民に手賀沼汚濁の歴史や状況などの話をする船上学習を開催し、手賀沼の浄化啓発を図る。	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。  ●手賀沼船上学習 【参加者】304人  ◇◆指標と実績◆◇ 【市内小学校実施数】 3校(13校中) 【その他団体】 8団体	A. 成果・効果があった  市内の小学生や市民団体に向けて手賀沼の歴史を教えるだけでなく、実際に船に乗りながら鳥などの生き物も見ることができたため、非常に人気である。  コロナにより船の定員が減少したため、コロナ前と比較すると、同じ予算額であっても乗船できる団体(人数)が限られてしまう。	A. 現状どおり推進  現状どおり推進予定	なし		手賀沼課
44	手賀沼流域フォーラムの開催  市民団体が中心となって水質改善や環境保全活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。  ●全体会の開催 講演会「手賀沼のヌマベを核とするまちづくり」～「ヌマベ」が市民にとって水に親しむ空間となるように取り組んだら、どうなった?～ 【日時】10月23日(土) 【場所】アビスタホール ◇◆指標と実績◆◇ 【我孫子企画の開催回数】 8回	A. 成果・効果があった  各市の企画数(コロナ・天候不良による中止を含む)について、柏4企画、鎌ヶ谷2企画、白井2企画、印西市2企画、我孫子市10企画と、我孫子市がもっとも多かった。 また、2021年より開始された外来水生植物駆除の経過観察や調査事業をはじめ、大津川支流のオオカワチンヤ調査・駆除や手賀沼魚類・貝類調査を実施。3年前に焼失したハスを含めた水生植物についても現状の把握に努めている。  新型コロナウイルス感染症の影響で募集定員を減らしたり、中止になったイベントがあった。	A. 現状どおり推進  現状どおり推進	なし		手賀沼課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
45	<b>ジャパンバードフェスティバルの開催</b>  自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした文化的・芸術的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や、手賀沼などの自然環境保全に関する情報の受発信を推進する。	人と鳥の共存をテーマに、出展団体間の情報交換促進のほか、野鳥を通じて自然環境に興味・関心を持ってもらう。 <b>【開催日】</b> 11月5日(土)、6日(日) <b>【開催場所】</b> 手賀沼公園、アピスタ、我孫子駅南口けきプラザ前、アビクオーレ <b>【事業内容】</b> ジャパンバードフェスティバル(JBF)は、国内最大級の鳥の祭典。団体の活動や研究の展示発表、グッズ販売、講演会などが行われた。 ◇◆指標と実績◆◇ <b>【実行委員会及び企画運営委員会の回数】</b> 6回	<b>A. 成果・効果があった</b>  新型コロナウイルス対策実施のもと3年ぶりに会場開催を実施。例年と異なるメイン会場で規模も縮小となったが、2日間を通して多くの方が来場し、賑わいを見せた。  次年度以降もイベントを継続させるために、事業の見直しや収入・支出面での工夫が必要である。	<b>B. 改善・見直しを行う</b>  近年の物価高騰などの影響により、支出面での増額が予想されることから、収入を増やす工夫や事業の見直しによる支出減の方法などを実行委員会で検討していく。	昨年実施しなかった海外団体の招へい、巡回バス等を実施。	鳥の博物館・手賀沼課	
	<b>地区計画制度の活用支援</b>  市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。  <b>●パンフレット</b> <b>【配布場所】</b> 市役所都市計画課 <b>【配布部数】</b> 部 (集計不可のため部数未記入。9地区の地区計画エリアに該当する場合や参考までに欲しいという場合も含めて、必要に応じて配布対応。) ◇◆指標と実績◆◇ <b>【ホームページ閲覧数】</b> 計4,889件 (地区計画～市民主体のまちづくり～:2,139件、我孫子市の都市計画…地区計画等:1,548件、市街化調整区域における地区計画運用基準:1,202件)  <b>【地区計画の区域内における行為の届出件数】</b> 67件	<b>A. 成果・効果があった</b>  市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	<b>A. 現状どおり推進</b>	なし		都市計画課
	<b>我孫子産農産物の学校給食導入事業</b>  児童生徒に、米を主食とした食生活や食文化の大切さを伝え、地元農産物への興味・関心を高めるため、我孫子産の米や野菜を学校給食に導入し、地産地消の観点から食育を推進する。	<b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> 我孫子産米認知度・小学校83.5%、中学校96.1% 我孫子産野菜認知度・小学校86.8%、中学校95.4% 我孫子産野菜使用・月平均5.6回使用 品数・3.8品目、 使用割合は5.5% 我孫子産野菜の日(毎月1日～4日)に、「あびこ型地産地消推進協議会」が作製したのぼり旗を各校の栄養士が持って、各教室を回り、意識啓発を行った。  <b>●米飯給食</b> 米飯給食回数4.1回/週実施した。  <b>●和食の実施</b> 実施率 平均50.5%  ◇◆指標と実績◆◇ <b>●我孫子産米が給食で使用されていることを知っている児童・生徒</b> R4指標 100%、実績89.6% <b>●我孫子産野菜が給食で使用されていることを知っている児童・生徒</b> R4指標 100%、実績87.7%	<b>A. 成果・効果があった</b>  <b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> 我孫子産米の認知度は小中学校ともに令和3年度実績より若干上がった。我孫子産野菜の認知度は小学校では上昇したが、中学校では若干下がった。我孫子産米・野菜それぞれ平均では令和3年度実績より上昇している。 <b>●米飯給食を実施した。</b> <b>●和食の実施</b> 米飯・和食給食を推進し、児童生徒に体験を通して食文化や日本型食生活の良さを伝えることができた。  <b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> ・我孫子産米の納品時に、異物混入が多く、使用時に苦労している。 ・我孫子産野菜の調達を行うための、各校への配送ボランティアの高齢化・人材不足、野菜を納品する農家と学校の仲介を行う「食育コーディネーター」の人材不足。 ・児童生徒の食に関する選択力・自己管理能力を高めるため、我孫子産米・野菜の認知度の向上に向けて、児童生徒への周知方法の工夫を行う。 <b>●和食の実施</b> 米飯給食、和食給食の推進が食育に寄与していることの具体的な評価が難しい。	<b>A. 現状どおり推進</b>  我孫子産米・我孫子産野菜を活用した学校給食を教材として、系統的、継続的に食育指導を実施し、児童生徒の興味関心、食に関する選択力、自己管理能力を高めていく。	我孫子産米・我孫子産野菜のオリジナルエプロンを我孫子市学校給食栄養士会で作成し、我孫子産野菜の日、食育月間、食育授業時に各校の栄養士が着用して児童生徒の意識啓発を行う。		

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの機会の推進	49	<b>市史調査研究</b>  我孫子市内に残る古文書の解読や資料類の収集・調査研究を行い、報告書等を作成して市政や教育に活用する。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。  ●資料調査 井上家資料目録に掲載された資料の読解とデータ作成を行い、来年度、インターネット上で公開に向けデータを整理した。 民具リストを更新し、来年度、インターネット上で公開するために写真撮影を行った。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応を行った。 ●和紙公園の保存修復 和紙公園を専門業者に委託して保存修復し、データ化した。 ◇◆指標と実績◆◇ 市史関係図書刊行数 2冊 和紙公園の保存修復 141枚(修復済み699枚、未修復154枚)	A. 成果・効果があった  井上家資料や和紙公園のデータ化を進めることで、一般の閲覧の対応が円滑になった。	A. 現状どおり推進  データの一般公開を見据えて資料整理に取り組む。	資料整理次第、データをインターネット上で公開する作業を進めることで、閲覧の要望をより円滑に行えるようにする。	文化・スポーツ課
	50	<b>郷土芸能への支援</b>  郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民俗芸能を発表する郷土芸能祭を、教育委員会の主催で実施した。 【日程】令和4年12月4日(日) 【時間】午前10時開演 【場所】湖北地区公民館 【内容】神楽舞、祭囃子、獅子舞 【出演】(ゲスト出演)我孫子日本舞踊協会 あびこふるさと会、ひよつとこ睦 我孫子第四小学校伝統芸能クラブ布佐小学校郷土芸能クラブ、布佐中学校郷土芸能講座  郷土芸能体験会 【日程】令和5年2月19日(日) 【時間】午前の部 10時から11時 午後の部 13時から14時 【場所】旧井上家住宅 【内容】太鼓・鐘・ひよつとこ体験会 【講師】あびこふるさと会  ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 郷土芸能祭 179人 郷土芸能体験会 243人	A. 成果・効果があった  伝統芸能を披露する機会を保ち、伝統芸能継承団体のモチベーションが高まった。また、古くから伝わる郷土芸能を次世代に継承させるために、今後も事業の推進をしていきたい。  伝統芸能継承団体の高齢化及び活動資金不足	A. 現状どおり推進	郷土芸能に触れる機会が少ない子どもたちに、日本古来の伝統的な和太鼓、踊りを体験してもらい、民俗芸能に興味を持つ入口となるような体験教室(3回)を行う。成果を発表することで楽しさを体験し、次世代へ郷土芸能を継承する機会とする。	文化・スポーツ課
	51	<b>文化財の指定調査と保存支援</b>  指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより滅失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 所有者同意を得て市指定文化財化をはかり、適切な管理を通じて保存を進めた。  ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行った。  ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進めた。  ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施した。 県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【市指定文化財数】 20件(今年度指定1件含む)	A. 成果・効果があった  登録有形文化財への希望や指定文化財への希望など、文化財保存への関心が高まった。	A. 現状どおり推進  文化財保存基金について、クラウドファンディングなども活用し、今後とも積極的に募金徴取を行う。国登録の登録制度の周知を行い、文化財保護を醸成する。	なし	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
52	埋蔵文化財発掘調査	【市内遺跡発掘調査】10件 【不特定遺跡発掘調査】0件 【公共事業発掘調査】2件 【民間開発発掘調査】1件 ◇◆指標と実績◆◇ 【必要な発掘調査の実施率】100%	A. 成果・効果があった 調査を円滑に実施できた。	A. 現状どおり推進 住宅の着工等を滞りなく進めるためにも、発掘調査を速やかに、かつ正確に実施していく。	なし	文化・スポーツ課	
	考古遺物整理	・「新木南部遺跡群」の1分冊目の刊行事業をおこなった。 ・「市内遺跡発掘調査報告書」は令和4年度市内遺跡補助を受けて刊行した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【一年間の報告書刊行冊数】3冊	A. 成果・効果があった 報告書の刊行を通じ、新木南部遺跡群の 全容解明にむけて大きな成果を上げることができた。	A. 現状どおり推進 毎年、報告書を計画的に刊行する。	なし	文化・スポーツ課	
	あびこ自然観察隊	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、観察会を実施。 開催場所は市内各所、定員は20人で、夜の観察会を除き、午前中に実施。鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。 7月30日(土)「手賀沼の魚をみよう」 17人 (定員を5組に設定) 8月14日(日)「ツバメのねぐら観察会」 15人 12月3日(土)「夜の動物観察会」 21人 2月19日(日)「観察しよう!手賀沼の冬鳥」 21人 3月19日(日)「春の谷津田観察会」 21人 ◇◆指標と実績◆◇ 【開催数】5回 【平均参加者数/回】 指標:24人 実績:19人/回	A. 成果・効果があった 定員を設定して実施した。小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた。	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館	
55	てがたん(手賀沼の自然観察会)	毎月第2土曜日午前10時から11時までの1時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。 コロナの影響もあり、当初定員を10人、7月からは20人に制限して、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。 4月9日「キジも鳴かずば見られまい」 10人 5月14日「たよって生きるつる植物」 雨天中止 6月11日「元気に育て!鳥のヒナ!」 11人 7月9日「てがたん樹木検定・夏編」 8人 8月13日「外来種ってどんな生きもの?」7人 9月10日「手賀沼のサギのなかま」 13人 10月8日「ナメクジってなにもの?」 7人 11月12日「歌で楽しむ自然観察」 11人 12月10日「ホオジロたちの暮らしかた」20人 1月14日「冬鳥を楽しむ」 19人 2月11日「冬のヨシ原の生き物」 20人 3月11日「ものまねチャンピオン・モズ」12人  ◇◆指標と実績◆◇ 【開催数】11回 【平均参加者数/回】 指標:34人 実績:12.5人	A. 成果・効果があった 規模を縮小し、事前申し込み制で行ったが、7月からは定員を広げて実施した。小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた。	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館	

基本目標 2 ①地域への関心を高める学びの機会の推進  
生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供							
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	56	子どもNPOボランティア体験 子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参画する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。 ●ボランティアのきっかけづくりのためのプログラム 【タイトル】あじょプラスマイナス絵本(絵本のシェア)事業 【内容】読み終わった本の交換、おすすめメッセージやしおり作成、本棚の整理のボランティアをして子どもや子育て世代が関わることができる市民活動【利用者数】219件、508人(42.3人/月)【蔵書数】1,927冊(令和5年3月31日現在) ●ボランティア育成のためのプログラム 【タイトル】Abiボラ 【内容】まちあるきと絵本に関わるプログラム【開催時期】夏休み ◇◆指標と実績◇◆ 【体験受入れ団体数】0団体 【体験者総数】5名(市民活動ステーション独自プログラムとして実施)	B. あまり成果・効果がなかった 新型コロナウイルス感染症予防のために受入れる団体がなかった。 指定管理者の自主事業として子どもボランティアが参加できるイベントを代替で実施した。 令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のために受入れを休止する団体・機関がほとんどだったため、情報の収集と発信が滞った。	A. 現状どおり推進	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供 新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため、令和5年度からは情報収集と団体・機関への情報発信を行う。	市民協働推進課
	57	後期離乳食教室 乳幼児期後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとり方等を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることを理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	【内容】 離乳食を中心とした食事の話、食習慣に関する健康教育、歯科指導を行った。また、月齢に合った試食を保護者に配布した。 ・離乳期後半から幼児期に向けての食事のポイント ・咀嚼の大切さ、食形態の変化のさせ方 ・起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・歯予防の話、歯みがき指導 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年18回 【対象】市内在住の8～9か月の児を持つ保護者。 【令和4年度参加者数】154組 ◇◆指標と実績◇◆ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】 99.2%	A. 成果・効果があった 集団への健康教育を行うことにより、歯の手入れも含めた食習慣の知識を深めることにつながったため。 なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
	58	しあわせママパパ学級 体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠期を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	●しあわせママパパ学級 【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース) 【委託】千葉県助産師会 【開催コース】12コース 【開催回数】36回 【参加者】妊婦123人(実)、322人(延) 夫、家族112人(実)、273人(延) ◇◆指標と実績◇◆ 【学級後のアンケート結果】 ≪「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合≫ 100%	A. 成果・効果があった 適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が100%となっている。令和3年度と比較して参加者が増加傾向であった。 なし	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルスの感染対策を緩和し、定員数増員を行った。	健康づくり支援課
	59	離乳食教室 離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通じて、乳児のすこやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	【内容】 基本的な離乳食調理方法や、大人の試食を活用した離乳食(取り分け食)の実演と試食を行った。また食品を上手に噛んで食べるための大切な練習期間であることから咀嚼にかんするアドバイスも行った。 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する講話、咀嚼に関する講話 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4～6か月の児を持つ保護者。 【令和4年度参加者数】183組 ◇◆指標と実績◇◆ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】 100.0%	A. 成果・効果があった 離乳食喫食時の口の動かし方を確認するだけでなく、離乳食の調理法や食材の固さについて情報提供を行うことで離乳食に関する知識が深まったと考えられる。 なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
				成果 課題				
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	60	手賀の丘フレンドシップ アー  手賀の丘少年自然の家を宿泊 場所として、金曜日の放課後か ら土曜日の午後にかけて、子ど もが集団のなかで自己を確立 し、心の交流や連帯感を身に付 け、社会のルールを養い、自立 心や協調性などを育む機会を提 供する。	※担当課の進行管理による					子ども支援課
	61	あびこ子どもまつり  子どもがまつりの企画から携わ り協力しながら自主的に行動 し、まつりをつくりあげるとともに 楽しむ機会を提供する。参加す る子どもは仕事体験しアビーと いう子どもまつりで使える通貨を もらい、使って楽しむという労働 体験の場を提供する。	※担当課の進行管理による					子ども支援課
	62	げんきフェスタ  市内の子ども達が、楽しく充実し た文化に触れ、地域の中でいき いきと逞しく、創造性豊かに成長 する機会を作る。また、それを支 える大人のネットワークを広げ、 参加する団体の交流と文化の 向上を目指す。	※担当課の進行管理による					子ども支援課
	64	子育て支援施設における講習  子どもが安全に遊べる場を設 け、親同士や子ども同士の交流 を図る。利用者アンケートなどを もとに、毎月各子育て支援施設 において、親の子育て力の向上 と親子の絆を深めることができ る育児講座を工夫して実施す る。	市内在住の乳幼児と保護者を対象の子育て支援施設を市内4か所で開設している。 公立施設・・・我孫子市子育て支援センターにここ広場、湖北台保育園子育て支援セ ンターすまいる広場 私立施設・・・川村学園女子大学附属保育園子育て支援センターかわむらんど、布佐 宝保育園子育て支援センターぐるんばクラブ ●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月2回 【場所】にここ広場 【内容】保健師相談・栄養士相談・歯科衛生士相談 ●プレパパママ講習会(あびこ助産院・あびこ助産師専門学校の協力) 【日程】1月、3月 【場所】にここ広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【場所】にここ広場/年2回・すまいる広場/年1回 ●育児講座(保健師・栄養士による講座及び図書館による読み聞かせ)(外部講師) 【日程】各、年1~2回 【場所】にここ広場 ※すまいる広場は、湖北台保育園の保健師、栄養士、園長による講座を実施 ●リフレッシュ講座 【日程】年に4~5回 【場所】各施設  ◇◆指標と実績◆◇ 4施設利用者実績 31,739人	A. 成果・効果があった 施設の利用制限が緩和され、行事等も再 開したため、利用者数が増加している。	A. 現状どおり推進	利用者支援事業(基本型)をにここ広場に2名、 情報コーナーに1名配置。子育て家庭の相談窓口 として対応できる人材を育成する。	保育課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	65	子ども議会  次世代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見を聴き今後のまちづくりの参考に。なお、子ども議会は、2年に一度開催する。	隔年実施のため、令和4年度は実施していない。 ◇◆指標と実績◆◇ 【質問する児童生徒数】38人	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	【日程】令和5年11月9日(木)9:00~15:30 【場所】我孫子市議会議事堂 【内容】各小中学校から代表する子ども議員を招集し、市長のまちづくり方針に対する子ども議員からの質問や意見に対する答弁を市役所職員から聞く。実際の市議会の流れとほぼ同様に進行するよう実施する。 【参加者】子ども議員:38人(市内小中学校児童生徒2人) 議会参加者:市長ほか関係職員等 ※保護者などの傍聴者は、傍聴席を使用 ・令和5年度は児童・生徒送迎用バスの配車を2台から3台増やして、帰宅時間を早める。	指導課	
	66	長寿大学  高齢者の生活を充実させ、人間関係を深め、地域の課題や社会の変化に適應できる能力を修得し、地域活動・まちづくりに主体的に参加しようとする人材を育成する。	【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」「市民活動」などを柱として、年間23回の学習プログラムで実施した。 ・運営、ねんりんピック、大学祭、広報、校外学習の各委員会を組織し活動した。 【参加者】 ≪1年生≫52人 ≪2年生≫45人 ≪3年生≫37人 ≪4年生≫44人  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 178人 【学級満足度】 83%	A. 成果・効果があった  学習を重ねる	A. 現状どおり推進  卒業後も継続学級として自主的に学習や地域活動を実施している。今後も4年間で豊かな人間関係を構築できるような充実した学級を運営していく。	なし	生涯学習課	
	67	成人式  大人になったことの自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます式典を行う。	【日程】1月8日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】 平成14年(2002)4月2日から平成15年(2003)4月1日に出生した市内在住者:令和4年12月1日現在1,342人 ≪第1部≫我孫子中学校区 ≪第2部≫湖北・湖北台及び我孫子特別支援学校卒業の方 ≪第3部≫久寺家・布佐中学校区 ≪第4部≫白山中学校区 【式典企画】 ・恩師からのビデオメッセージと卒業アルバムからの思い出の写真の上映 【記念品】 オリジナルデザインの図書カード ≪企画運営会議について≫ 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、二十歳成人式の準備を進める。全5回の企画運営会議を実施。 ≪第1回≫ 6月26日 二十歳成人式の内容、企画運営会議の役割について ≪第2回≫ 7月24日 式典企画及び記念品について ≪第3回≫ 8月18日 式次第、式典企画及び記念品について ≪第4回≫ 9月18日 台風の為中止 ≪第5回≫10月 17日 式典企画、記念品及び案内状・式次第封入作業について ≪第6回≫11月 7日 12月リハーサルについて、台本読み合わせ  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 955人 (出席率 67.68%) ≪第1部≫ 265人 (出席率 68.65%) ≪第2部≫ 217人 (出席率 74.31%) ≪第3部≫ 250人 (出席率 59.66%) ≪第4部≫ 223人 (出席率 71.01%)	A. 成果・効果があった  新成人自らが二十歳成人式を作りあげることで、代表者・参加者ともに心に残る式典となった。  新型コロナウイルスの影響により、会場が半数利用となっているためホールが手狭になることが予想される。	A. 現状どおり推進	式典を3部制に変更。	生涯学習課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまじくり	68 熟年備学	<p>高齢期を乗り豊かな幸せな期間(幸齢期)とするために、高齢社会の諸問題や対処の方法を学ぶ。人生の後半を自立し豊かな暮らしができ、元気な高齢者として地域の高齢者を支えながら、自らハツラツとした人生を送るにはどうしたら良いかを考えるきっかけとする。</p>	<p>【日程】5月から11月 11回 【場所】我孫子地区公民館 【内容】①開級式 笑って長生き ②身体イキイキ健康体操 ③元気うちから介護予防 ④かしこい消費者になろう ⑤人生100年時代のマネープラン ⑥地域で私が出ること ⑦食生活が健康を支える ⑧生前整理でスッキリ! ⑨歌とリズムでリフレッシュ! ⑩全ての健康の基～口腔ケア～ ⑪男と女のおしゃれ術 ⑫学習を振り返って～今後の活動～ 開級式 【定員】40人 【参加者】36人 ◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】 熟年備学に参加しての感想 ①とても良かった 42% ②まあまあ良かった 38% ③ふつう 10% ④あまり良くなかった 2% ⑤とても良くなかった 0%</p>	<p>A. 成果・効果があった アンケート結果で、学習の中で学んだことを8割の方が何かしら実践している。人とつながることの重要性、地域社会のなかの自分の存在に気づくことができた。少なからず、生活や活動のきっかけになっているようだ。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>長寿大学1年生、2年生と合同学習を実施する。</p>	生涯学習課
	69 家庭教育学級	<p>子育てについての学習や、親同士の情報交換を通して、家庭・親子のあり方を考える機会を提供するとともに、家庭での教育力の向上を図る。</p>	<p>【日程】5月から1月。年間14回 【場所】我孫子地区公民館 【対象】小学校1年生の保護者 【定員】40名 【参加】30名 ◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者27名) 満足度97%</p>	<p>A. 成果・効果があった 参加理由として「何か勉強したい」「同じ学年の子を持つ保護者との交流を求めて」が多かった。 学級終了時のアンケート結果から、「学んでつながることへの満足感がうかがえ、自主的に活動する継続学級も立ち上がった。」</p>	<p>A. 現状どおり推進 通年の学習の中で、班活動や話し合いが必要な学習を設け、子育てを通しての価値観が同じ仲間、同年の子どもを持つ保護者が繋がる場になるよう運営していく。</p>	なし	生涯学習課
	70 のびのび親子学級	<p>ゆとりある子育ての実現に向け、親子のふれあい、学級生同士の交流などを軸に仲間と子育てについて学ぶ機会を提供する。</p>	<p>●のびのび親子学級 【日程】5月から11月まで 各コース全10回 【場所】我孫子地区公民館ホール、手賀沼公園 【対象】アビスタコース 平成30年4月2日から令和2年4月1日生まれの子(2、3歳児)と保護者 【定員】アビスタ火曜コース 親子25組 アビスタ木曜コース 親子25組 【参加】アビスタ火曜コース 親子26組 アビスタ木曜コース 親子25組</p> <p>●Babyのびのび親子学級 【日程】前期4月から7月まで 全6回 後期10月から1月まで 全6回 【場所】我孫子地区公民館 ホール 【対象】前期 令和3年10月1日から3月31日に生まれた赤ちゃん(産後1か月検診受診後)と保護者 後期 令和4年4月1日から9月30日に生まれた赤ちゃん(産後1か月検診受診後)と保護者 【定員】前期 親子20組 後期 親子20組 【参加】前期 親子18組 後期 親子20組</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 77人) 《満足度98.3%》</p>	<p>A. 成果・効果があった 学習が進む中で、不安だった気持ちが軽くなったり、しっかりと子どもと向き合えるようになり、親子の絆を深めることができた。  コロナ禍によって、課題を出し合い、話し合える場を設けることが難しくなった。感染予防を徹底し、いかに横のつながりを作っていくか考えていく必要がある。学級生同士の交流に重きを置きたい。</p>	<p>A. 現状どおり推進 学習を通して、親同士の学びと交流を重視している。仲間と一緒に考え、子育ての楽しさや苦勞を分かち合い、互いに支え合える仲間づくりができる。学習終了後も自主的な活動を続けるための継続学級が立ち上がった。今後も、横のつながりを作るきっかけの場になるように運営していく。</p>	なし	生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの 提供 ②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	71 アビコでなんでも学び隊	<p>●アビコでなんでも学び隊 【日程】7月から12月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小中学生 《伝統の美・友禅染》【定員】15人【応募】39人【参加】15人 《生命のふしぎ発見～メダカのみみつ～》【定員】15人【応募】71人【参加】16人 《あらふしぎ？カガミを使わない万華鏡》①②【定員】48人【応募】98人【参加】48人 《電気の正体を探ろう&amp;電気ブランコに挑戦》①②【定員】30人【応募】84人【参加】30人 《My望遠鏡で月を見よう！～星座版の見方もバッチリ！～》【定員】20人【応募】54人【参加】20人 《暑中・残暑見舞いを作ろう！》【定員無し】【参加】72人 《お金の大切さがわかる話と貯金箱作り》【定員】20人【応募】85人【参加】21人 《おもしろふしぎ りかじっけん》【定員】30組【応募】99組【参加】30組 《パンでクリスマスブーツを作ろう》【定員】15人【応募】68人【参加】15人 《はじめての書初め》【定員】22人【応募】30人【参加】22人 《ダブルダッチに挑戦！》【定員】20人【応募】55人【参加】25人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【講座終了時に実施したアンケート結果】 【講座に参加した子ども達の満足度】100%</p>	<p>A. 成果・効果があった 参加したほぼ全員が満足している。</p> <p>毎年、応募者が多く残念ながら抽選で参加できない子ども達が多い。</p>	<p>A. 現状どおり推進 専門的な知識を持つ講師の協力により、学ぶ喜び、科学する楽しさ、発見する喜び等、日常経験しがたい体験学習の場となっており、参加者の満足度も高い。地域と子どもをつなぐ役割も果たし、年齢、地域を越えた交流の場を提供していく。</p>	<p>・市内事業者（JR東日本我孫子駅）への講座依頼 ・国土交通省の出前講座の活用</p>	生涯学習課	
	72 子どものための舞台鑑賞事業	<p>子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施した。</p> <p>【日程】令和4年12月17日（土） 【時間】午前公演：11時開演 午後公演：14時開演 【場所】湖北地区公民館 【内容】「絵本deクラシック くるみわり人形とネズミの王さま」</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 午前公演：231人 午後公演：229人</p>	<p>A. 成果・効果があった 親子で楽しめる、質の高い舞台を提供することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	文化・スポーツ課	
	73 成人・青少年への図書館サービス	<p>○中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、文字活字文化の日関連事業などを実施した。</p> <p>○一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ○成人・青少年に対するサービスの企画運営 ○一般サービス選定会議の運営（週1回程度） ○館内研修の実施 《事業》 ○ブックフィルムコーティング講習会 ・日程・場所・参加者：10月26日（水）・アピスタ本館・7人、10月28日（金）・布佐分館・11人 ○読書マラソン大会 ・日程・目標達成者：①4/23から5/22まで・307人②7/21から8/31まで・653人③12/20から1/31まで・892人 ○修理講習（研修講師） ・日程・参加者：10月26日（水）・鳥の博物館職員2人 ○図書館講座（中学生への利用案内） ・日程・参加者：11月11日（金）・湖北中学校120人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出利用者数（12歳以下、団体利用は除く）】 238,014人（前年度比 107%）</p>	<p>A. 成果・効果があった 生活に必要なことや趣味に関する要求、知的好奇心等に応え、生涯学習意欲の向上につなげた。他課と連携して展示を実施することで、内容に広がりが出るとともに市民への効果的なPRができた。</p> <p>利用者の要求が多岐に渡り、限られた予算の中で購入できる冊数にも限りがあった。新刊図書を購入する際は、厳選して必要がある。利用が少ない若年層（13歳から22歳）の利用促進に努める。</p>	<p>A. 現状どおり推進 成人・青少年のサービス対象者（13歳以上）は、図書館年間貸出利用者数の約93%を占めており、市民の学習機会を充実させるために必要な事業である。</p>	なし	図書館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
74	<b>児童への図書館サービス</b>  子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	○学校図書館支援センター機能への支援 ○新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ○児童サービスの企画運営として、おはなし会(「親子で楽しむおはなし会」)「おはなし会」 「そよかぜおはなしタイム」、子ども読書の日(4月23日)関連事業「子どもの読書週間 みんなで育てよう! 図書館の木」、子どものための科学実験講座、文字・活字文化の日(10月27日)関連事業「よむよむラリー」、館内研修などを実施 ○学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ○学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 <事業> ○子どもの読書週間 みんなで育てよう! 図書館の木 【参加枚数】 384枚 ○子どものための科学実験講座「高分子化合物ってなんだ? ~ふくらむスライムとスーパーボールをつくらう~」 【場所・参加者】 ①アビスタ本館 29人、②布佐分館 18名 ○親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 24回 255人、②布佐分館 12回 79人 ○おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 4回 32人、②布佐分館 24回 127人 ○そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 7回 49人、②川村保育園ステーション 10回 453人 ○よむよむラリー 【完了数】 図書館 114件 学校 1,936件 合計2,050件 ○離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ 【実施回数・合計参加者】 12回 280人  ◇◆指標と実績◆◇ 【文字活字文化の日(関連事業)よむよむラリーのゴール数】 2,050件 (前年度 1,768件) 【児童書の年間貸出冊数】 187,177冊 (前年度比 106%)	A. 成果・効果があった  専門的知識や経験を有する職員が、より高度で充実したサービスを市民に提供することができた。  読書の楽しみを知ってもらうためには、各事業のPRの工夫をして、利用を促進していく必要がある。 若手の職員に研修や経験を積ませて育成していく必要がある。	A. 現状どおり推進  ・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(「親子で楽しむおはなし会」)「おはなし会」 「そよかぜおはなしタイム」、子どものための科学実験講座、「よむよむラリー」、子ども読書の日(4月23日)関連事業「みんなで育てよう! 図書館の木」、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 ・学校図書館支援センター機能への支援	なし	図書館	
	<b>子どもの読書活動推進計画の進行管理</b>  子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭、地域、市民図書館、学校図書館、保育園などにおける子どもの読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深め、読書活動を確立していく。	○「子どもの読書活動推進計画」に関する事業の実施状況調査について各課に依頼、集計。 ○学校図書館との連携による授業支援を実施(通年)。 ○子どもの読書活動におけるアンケート調査を実施(9月)。 調査対象:(児童・生徒)小学2年生、小学5年生、中学2年生、高校2年生 (保護者)保育園4歳児クラスの保護者、小学2年生・小学5年生・中学2年生の保護者 対象者数:(児童・生徒)3,866人、(保護者)2,939人 回答率:(児童・生徒)60%、(保護者)29% ◇◆指標と実績◆◇ 【学校図書館との連携による授業支援数】 42件	A. 成果・効果があった  市役所各課で、どのような子どもの読書活動推進に関連した活動を実施しているかが認識できた。 子どもの読書活動におけるアンケート調査を実施し、子どもの読書活動の現状を把握するための集計結果をまとめた。  アンケート調査結果を踏まえ、令和6年度より開始する「子どもの読書活動推進計画(第二次)」を策定していく。	A. 現状どおり推進  子どもが自ら考え課題解決できる自立した人間に成長するため重要であることから、関係課と連携を図りながら、引き続き我孫子市における子どもの読書活動を推進していく。	子どもの読書活動推進計画(第二次)の策定委員会を設置し、委員会を開催(5回開催予定)。		図書館

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実		③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実					
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	76 男女共同参画講演会の実施	※担当課の進行管理による					秘書広報課
	77 平和事業 我孫子市平和都市宣言のもと、原爆の恐ろしさや平和の尊さを次世代に伝えていくために、被災地への中学生派遣を行うほか、我孫子市原爆被爆者の会や平和事業推進市民会議とともに、様々な平和事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平和事業推進市民会議 【開催回数】5回 【委員数】15名 会議及び主催事業とは別に、月刊社会教育より依頼を受け、平和事業の取組について、委員を含む、4名が寄稿し、2022年8月号に掲載された。</li> <li>●中学生派遣 【派遣先】広島 【派遣期間】8月5日(金)から8月7日(日)まで 【派遣人数】12名(中学校6校から男女各1名)</li> <li>●平和祈念式典組み合せ事業 【日程】8月13日(土) 【会場】手賀沼公園 【内容】手賀沼とうろう流し ※荒天により中止。とうろうはアピスタに展示。平和の集いにおいてもギャラリーに展示した。</li> <li>●派遣中学生による報告会(平和の集い) 【日程】12月4日(日) 【会場】けやきプラザ2階ふれあいホール 【内容】広島への派遣中学生による派遣報告、我孫子中学校演劇部による演劇「輝けいのちーヒロシマの地下室からー」の公演 【出演者】派遣中学生12名、我孫子中学校演劇部9名</li> <li>●リレー講座 【開催時期】令和4年6月～令和5年2月 【内容】歴代の広島・長崎派遣中学生が講師となり、市内の小学校6年生に派遣体験を伝え、平和について考える機会とする。グループワークで「平和のために自分たちができること」を考え、葉っぱの形をしたメッセージカードに記入する。 【受講者】小学校6校の6年生(33クラス、1028名)</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【平和事業推進市民会議の開催数】5回 【広島・長崎派遣中学生リレー講座の実施回数】13回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中学生派遣事業と派遣中学生によるリレー講座は、戦争や原爆を経験した方がますます減っていく今後の日本社会において、その悲しさや平和の尊さを伝えていく新たな世代を育てる役割を果たした。</li> <li>●今後様々な視点から平和事業を行って行くために、歴代派遣中学生の委員任用数を増やした。</li> </ul> <p>●派遣から年数が経ってしまうと、リレー講座等の活動に参加することに気後れしてしまう人もいと考えられるため、いかに活動に参加しやすくするのか、工夫が必要である。</p> <p>●リレー講座以外にも、戦争体験者の言葉や思いを受け継ぎ、次の世代に伝えていく取組みを検討する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>派遣事業については、広島ではなく長崎に派遣する。</p> <p>引き続き、平和事業推進市民会議等の団体、平和事業に参画する市民と連携しながら、事業を進める。</p>	企画政策課		
78 健康づくりに関する専門家によるセミナー	<p>【日程】令和4年11月7日(月)アピスタホール 【対象者】我孫子市民の方 【人数】会場100人、オンライン事前申請があった方</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加者数】会場参加者97名(オンライン最大接続者数:37名)</p> <p>市民一人ひとりが自らの健康状態を知り、自主的に健康づくりができるよう、運動、栄養、口腔衛生等の生活習慣を改善するための情報の提供を行う。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>30代から80代の方まで幅広い年代の方に参加してもらうことができ、休養に関する啓発ができたと思う。</p> <p>市民の方もオンライン配信が不慣れな方もいたため、運営側でミュートにするなどオンライン配信のルールや運用に関して課題が残った。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>次回も会場とオンライン配信(ZOOM)のハイブリッド型にて講演会実施予定。</p>	健康づくり支援課			



目標	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまじくくり	83	認知症の方の家族のつどい「あびこ」	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業【日程】原則、偶数月の第2水曜日。年6回開催(千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業)。 【場所】 けやきプラザ 【参加対象者】 認知症の方を介護している家族・介護経験者 【実施内容】 家族の情報交換・交流 【参加者数】 延29人 ◇◆指標と実績◇◆ 【アンケートの結果】 「参加により不安の軽減できた」 100% 「自由記載の一部抜粋」 ・皆様から体験談等ありがとうございました。初心に帰って頑張ります。 ・自分ひとりじゃない、同じ思いを抱えている方がいらっしやるのがわかり、この1時間だけでも気持ちが楽になりました。	A. 成果・効果があった アンケートでは「参加により不安の軽減できた」が約10割であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課	
		介護予防講演会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ◇◆指標と実績◇◆	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	フレイル予防についての講演会を予定		高齢者支援課
		高齢者虐待防止講演会	実施日:令和4年9月26日 内容:ひきこもり当事者とその家族への支援と関わり 講師:つくば大学 教授 齋藤 環 氏 参加者:41名 ◇◆指標と実績◇◆ 【虐待防止講演会参加者数】41名。	A. 成果・効果があった 高齢者と引きこもり状態にある子どもが同居する8050問題の課題と対策について具体的に学ぶことができ、相談支援に関する実践力の強化につながった。	A. 現状どおり推進	なし		
基本目標 2 生涯	86	遊具うんどう教室	【場所・日程・参加者】 《湖北台中央公園》毎月第3火曜日(2・8月除く) 6回、延 145人 《天王台西公園》毎月第3金曜日 11回、延 72人 《布佐南公園》毎月第2水曜日(2・8月除く) 9回、延 51人 ※雨天の場合は中止 【対象者】概ね65歳以上の方 ◇◆指標と実績◇◆ 【遊具うんどう教室参加者合計数】 延 268人	A. 成果・効果があった 屋外での健康づくりの拠点として、うんどう遊具が設置されている市内3地区の公園において、遊具うんどう教室を26回開催し、延268人が参加した。健康状態を維持・増進し、生活機能の低下により、要介護状態となることを予防するため、介護予防・うんどう習慣等に関する知識の普及啓発を行った結果、介護予防や健康づくりに関する意識が高まり、高齢者自らが活動に参加し、主体的に介護予防に取り組む姿勢がみられた。また、参加者同士が交流することで、閉じこもり予防にも繋がっている。 木製のうんどう遊具を設置してから20年近く経過し、老朽化や破損等による補修・撤去の必要性が多く出てきている。	B. 改善・見直しを行う	業者によるうんどう遊具の点検を実施し、必要に応じ修繕を行う。	高齢者支援課	
		生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。			業者によるうんどう遊具の点検を実施し、必要に応じ修繕を行う。			

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	87	<b>環境学習の推進</b>  小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、それらと手賀沼との関わりを伝えることで、手賀沼の浄化啓発を図る。	○夏休みの環境学習 ≪プランクtonをつかまえて顕微鏡で観察しよう!≫ 【日程】7月28日(木)及び8月3日(水) 【場所】水の館 研修室 【対象及び定員】各日小学生20人(小学3年生以下保護者同伴) ≪紙粘土で花瓶を作ろう!≫ 【日程】8月4日(木)・8月11日(祝・木) 【場所】アビスタホール 【対象及び定員】小学生20人(3年生以下保護者同伴) ≪船から見る手賀沼のふしぎ(船上学習)≫ 【日程】7月27日(水) 【場所】手賀沼公園 【対象及び定員】小学生30人(3年生以下保護者同伴) ≪カヌー体験学習in手賀沼≫ 【日程】8月21日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象及び定員】小学生以上27人  ○その他の環境学習 ≪手賀沼水辺探検≫※手賀沼流域フォーラム我孫子企画 【日程】9月25日(日)※手賀沼増水のため中止 【場所】フィッシングセンター 【対象及び定員】小学生25人 ≪ミニ手賀沼で生きものしらべ≫※県主催事業 【日程】7月23日(土) 【場所】ミニ手賀沼 【対象及び定員】小学生50人 ≪バードフィーダー作り≫ 【日程】12月10日(土) 【場所】水の館 研修室 【対象及び定員】20人(小学4年生以下保護者同伴) ≪紙飛行機工作と飛行大会≫ 【日程】2月18日(日) 【場所】水の館 研修室 【対象及び定員】20人(小学生以下保護者同伴) ◇◆指標と実績◆◇ 【夏休み環境学習4事業参加者】 103人 【その他の環境学習4事業参加者】 49人	A. 成果・効果があった  各事業とも夏休み・冬休み等のイベントとして需要が高く、参加した子供だけでなく、親の反応が良かった。それ以外のイベントも、親子だけでなく大人一人で参加しても好評であった。	A. 現状どおり推進  現状どおり推進	船上学習及び紙粘土工作は我孫子市環境レンジャーの高齢化などにより実施について検討している。	手賀沼課
			①【日程】令和4年4月1日 【場所】川村学園女子大学 【参加者】140名 若者向け消費生活講座 ②【日程】令和4年4月12日、7月1、5日、9月21日、令和5年2月20日 【場所】我孫子北近隣センター 【参加者】144名 賢い消費者になるために ③【日程】令和4年5月18日、6月22日 【場所】中央学院大学 【参加者】840名 若者向け消費生活講座 ④【日程】令和4年6月13日 【場所】市民プラザ 【参加者】14名 高齢者向け講座 ⑤【日程】令和5年3月12日 【場所】けやきぶらざ7階 【参加者】36名 高齢者の消費生活被害について ●ふれあいサロン 【日程】令和4年5月、令和5年2月開催 【場所】つくし野近隣センター、近隣センターふさの風 【参加者】計60名 消費生活センターについて。相談状況、最近のトラブル事例 ●消費生活講座 【日程】令和4年11月19日 【場所】けやきぶらざ 【参加者】46名 食品の表示をしっかりみよう ◇◆指標と実績◆◇ 【全ての講座の参加人数】 1280名	A. 成果・効果があった  若者向け消費者講座については、昨年度よりも参加者が大幅に増えたため、成人年齢の引き下げに伴う消費トラブルと対処法等について啓発することができた。	A. 現状どおり推進  新型コロナウイルス感染対策の緩和により、日常生活の回復に向かい、これまで実施していた事業を推進すべきと考えている。	なし	
基本目標 2 生涯にわたる	88	<b>消費生活講座</b>  消費者の多様化するトラブルを防止するのに必要な情報を市民に提供するため、消費生活相談員や外部講師による消費生活講座を開催する。	●出前講座 他 ①【日程】令和4年4月1日 【場所】川村学園女子大学 【参加者】140名 若者向け消費生活講座 ②【日程】令和4年4月12日、7月1、5日、9月21日、令和5年2月20日 【場所】我孫子北近隣センター 【参加者】144名 賢い消費者になるために ③【日程】令和4年5月18日、6月22日 【場所】中央学院大学 【参加者】840名 若者向け消費生活講座 ④【日程】令和4年6月13日 【場所】市民プラザ 【参加者】14名 高齢者向け講座 ⑤【日程】令和5年3月12日 【場所】けやきぶらざ7階 【参加者】36名 高齢者の消費生活被害について ●ふれあいサロン 【日程】令和4年5月、令和5年2月開催 【場所】つくし野近隣センター、近隣センターふさの風 【参加者】計60名 消費生活センターについて。相談状況、最近のトラブル事例 ●消費生活講座 【日程】令和4年11月19日 【場所】けやきぶらざ 【参加者】46名 食品の表示をしっかりみよう ◇◆指標と実績◆◇ 【全ての講座の参加人数】 1280名	A. 成果・効果があった  若者向け消費者講座については、昨年度よりも参加者が大幅に増えたため、成人年齢の引き下げに伴う消費トラブルと対処法等について啓発することができた。	A. 現状どおり推進  新型コロナウイルス感染対策の緩和により、日常生活の回復に向かい、これまで実施していた事業を推進すべきと考えている。	なし	商業観光課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
ついでにさまざまな学びのできるまちづくり ③多様化・高度化する 生涯にわた	89	緑の講習会  ガーデニングや庭の手入れ方法などの緑に関する知識や技能の講習会を開催し、多くの市民に園芸やガーデニングに興味を持ってもらい、みどり豊かなまちづくりを推進する。	休止 ◇◆指標と実績◇◆	C. 未実施・わからない	C. 廃止・休止	なし	公園緑地課
	90	栄養教諭・栄養職員を中核とした食育推進事業  食事の重要性を理解し、心身の健康を維持するための食の自己管理能力を身に付けた児童・生徒の育成を目指し、学校給食を教材として食育を推進する。家庭における望ましい食習慣の実践につなげるため、保護者が参加できる給食試食会を開催する。	・学校給食を教材とし、教科や調理実習・給食時間・献立表・給食だより・HP等を通じて食に関する指導を年間を通して行った。 ・6月に全校児童生徒を対象として朝食摂取状況に関するアンケートを実施した。朝食を毎日食べる割合は、小学生89.8%、中学生83.4%であった。 ・R4 11月に全校で残菜調査を実施した。平均残菜率は4.2%であった。 ・健康づくり支援課が発行する「食育だより」(市内公共施設及び全児童生徒に配布)において、学校における食育の取り組み及び栄養士の視点で適切な栄養素の取り方について記事を掲載し、保護者に向けて食育意識の啓発を図った。  ◇◆指標と実績◇◆ 児童生徒及びその保護者に実施した食育事業の実績 家庭教育学級1回、給食試食会1回	C. 未実施・わからない  各学校で栄養士が食育活動を行ったが、毎日朝食を食べる割合が小学校、中学校ともに令和3年度実績より低下しており、残菜率も令和3年度実績より増えてしまっているため、効果についてはわからない。  以前は、親子クッキング教室・料理教室や給食試食会を実施し、保護者へ直接的に食育活動が行えたが、令和4年度もコロナ禍により実施が難しく、安定した事業の実施が難しかった。コロナの感染予防を図りながら、実施可能な食育活動を展開していく必要がある。	A. 現状どおり推進  成長期の児童生徒の心身の健康を維持するための食育活動は必須であり、子どもに対する自己管理能力の育成は勿論だが、家庭における望ましい食生活の実践のため、保護者の理解や協力も必須である。そのため、引き続き実施可能な食育活動を実施していく必要がある。	コロナの感染状況を見ながら、給食試食会を再開する。食育指導を各学校で行う栄養士の資質向上のため、他校の視察をお互いに行う。	学校教育課
	91	生涯学習出前講座の運営  市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集會等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。 ●出前講座 【講座数】 市役所メニュー 74 講座 市民講師メニュー 130 講座 キャンパスメニュー 31 講座 【年間利用状況】 件数: 78 件 (うち市役所メニュー:51件、市民講師メニュー:24件、キャンパスメニュー:3件) 人数: 1620 人 (うち市役所メニュー:1133人、市民講師メニュー:446人、キャンパスメニュー:41人)  ◇◆指標と実績◇◆ 【利用者満足度・件数】(回答者 69人) 《とても満足》 65.2%・45件 《満足》 31.8%・22件 《ふつう》 2.8%・2件 《やや不満》 0%・0件 《不満》 0%・0件	A. 成果・効果があった  学習団体の問い合わせに対し、出前講座の制度を紹介することで、目的にあった生涯学習活動を支援することができた。  新たに追加した出前講座「ちば電子申請サービス」での申し込み方法が口頭での説明のわかりづらかった。	A. 現状どおり推進  生涯学習の目的は多岐にわたるため、現状維持だけではなく、引き続きメニューの拡充を行う。出前講座の周知をするため、メニュー表の効果的な設置を行い、利用件数を増やす。	なし	生涯学習課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
つたてさまざまな学びのできるまちづくり	92	生涯学習推進事業  我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、講演会、学習の場の提供等を通して、学びが人づくりとなり、人と人の交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習推進事業を開催する。	<p>●中村恵美写真展「RING OF LIFE」ー北極、南極の動物たちの“命”が、今、ここで1つにースライドトーク 【日程】4月23日(土) 【場所】アビスタホール 【参加者】50人 【講師】野生動物写真家 中村恵美氏 講師アシスタント 鈴木美香氏</p> <p>●運動会で速く走れる！未来のオリンピック走り方教室 【日程】10月1日(日) 【場所】手賀沼公園 【参加者】26人 【講師】中央学院大学 小林敬和教授</p> <p>●親子deミニ門づくり～手作りて迎えるお正月～ 【日程】12月27日(火) 【場所】アビスタホール 【参加者】親子10組20人 【講師】ちばテク我孫子校</p> <p>●段ボールで作る恐竜チェア 【日程】12月27日(火) 【場所】アビスタエ芸工作室 【参加者】親子6組12人 【講師】ちばテク我孫子校 ◇◆指標と実績◆◇ 【延べ参加者数】108人</p>	A. 成果・効果があった  講座を通じて学ぶことやモノづくりの楽しさを知ってもらい、生涯学習に興味を持ててくれた。また、地域で活躍する方々を講師とすることで、講座参加者に地域への愛着等も感じてくれた。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
			<p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】第1回：7月19日(火)、第2回：8月31日(水)、第3回：10月20日(木)、第4回：11月22日(火) 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】講演及び演習 講演内容：子どもの人権について、自分らしく生きていくこと、帰国拉致被害者の講話、私らしく生きる一光を失ってもー</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】8月25日(木) 【場所】さわやかちば県民プラザ ホール 【対象者】市内小中学校教職員、保護者、教育委員、社会教育委員、人権擁護委員及び関係各課職員 【内容】①行政説明：千葉県の人権教育について ②講演：「LGBTQ」 講師：柏市立高田小学校 校長 中光理恵氏</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【人権教育地区別研修会参加者数】6名</p>	A. 成果・効果があった  参加者からは、とても参考になったという声があった。	A. 現状どおり推進	なし	
基本目標 2 生涯にわたって	93	人権教育  地域で活動する社会教育関係者及び市民を対象に、社会に存在する様々な人権問題(外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など)について学習する機会を提供し、社会教育活動及び学習活動にいかしてもらおう。					

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
さまざまな学びのできるまちづくり	95	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～  市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、地域の団体と連携を図りながら、子供から大人まで参加できるスポーツイベントを開催する。	≪みんなのスポーツフェス【THE・チャレンジ】≫ 【日程】令和5年2月18日(土) 【場所】我孫子市民体育館  ◆◆指標と実績◆◆ 【参加人数】220人	A. 成果・効果があった  親子向けの「体の使い方教室」や各競技スポーツの体験をはじめ、多くの方々にご参加いただいた。また、バラスポーツの分野を多く取り入れたことで、障がい者も参加しやすいイベントとし、「誰でも」気軽に参加できるイベントとなった。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
		鳥の博物館企画展の実施  鳥の生態や体の仕組み、保全などについて、理解を深めてもらうため、様々な視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。	●企画展示 【内容・日程】 「日本の鳥コーナー収蔵標本公開」 R4.2.5～6.26 第90回企画展「手賀沼の鳥」 R4.7.16～R3.11.27 第91回企画展「第18回友の会展 マンホールの上の鳥たち」R4.12.10～R5.1.29 「日本の鳥コーナー収蔵標本公開」R5.2.18～R5.6.25 ◆◆指標と実績◆◆ 【入館者数(年間)】 指標： 33,000人 実績： 28,206人	A. 成果・効果があった  各テーマに沿った企画を分かりやすく解説し、来館者が興味を持って鳥についての知識を深めることができた	A. 現状どおり推進	11月から休館予定であるため、企画展の開催は1回のみとなる。	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり			基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実			①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		
97	<b>市民農園維持管理事業</b>  消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃)</li> <li>農園利用者の新規募集(随時)</li> <li>農園利用料の徴収(6月)</li> <li>農園利用者向け収穫体験イベントの実施(6月、10月)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●年間を通じた市民農園の維持管理</li> <li>【内容】</li> <li>・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃)</li> <li>・農園利用者の募集(随時募集、ホームページに募集記事を掲載)</li> <li>・農園利用料の徴収</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【市民農園の詳細】</li> <li>《日秀新田市民農園》 総区画122区画のうち利用区画数104区画</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●収穫体験イベント</li> <li>《じゃがいも収穫体験イベント》</li> <li>【日程】令和4年6月25日(土)</li> <li>【場所】日秀新田市民農園内</li> <li>【参加者】83人</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>《落花生収穫体験イベント》</li> <li>【日程】令和4年10月8日(土)</li> <li>【場所】日秀新田市民農園内</li> <li>【参加者】62人</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇◆指標と実績◆◇</li> <li>【市民農園利用区画数】104区画(一般区画全122区画中)</li> </ul>	A. 成果・効果があった  昨年度に比べ、利用区画数は増加し収穫体験に関しても20名程度増加した。	A. 現状どおり推進	より多くの利用者様に、収穫体験に参加していただくために時間帯の見直しを行った。	農政課	
	98	<b>親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)</b>  水槽やパネルなどで手賀沼の生き物や市の歴史・文化について情報発信する。環境学習の場としても活用するほか、プラネタリウムやじゃぶじゃぶ池など、多くの来場者が訪れる水環境保全啓発施設として運営する。	水の館内の各展示や講座により水環境保全啓発、環境学習、歴史・文化の学習の場を提供する。また、土日祝日にプラネタリウムの定時上映も行うほか、テーマ番組に合わせた展示、CDまたは生演奏と合わせた上映を4回と星空たんけん観望会を3回実施した(観望会は、台風のため1回中止となった)。 ◇◆指標と実績◆◇ 【プラネタリウム投影事業参加者合計】 772回上映、10,998人 【星空たんけん観望会】 3回実施 99人	A. 成果・効果があった  プラネタリウム定時上映については、土日祝日に1日6回ずつ投影を行うほか、平日は10人以上で団体賞切を行った。また、夏休みと春休み期間は、水曜日を除く平日も1日2回投影を行ったことで、親水広場に多くの入場者に来ていただき、水環境保全啓発施設としての利用も促進された。  今後も水の館の展示内容・環境学習等さらに充実させ、水環境保全に興味・関心を持ってもらう場として活用を図る必要がある。	A. 現状どおり推進 現状どおり推進		なし

基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
100	新たな文化交流拠点施設整備の検討	令和元年5月にとりまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想(案)」をもとに、施設のホール等の規模、機能等について、令和4年5月に市民に対してモニターアンケート、令和5年2月に湖北地区公民館利用団体に対しは電子申請サービス及び郵送したアンケート用紙にて意見徴収を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【建設構想】策定の進捗率】10%  施設の規模、機能等を一気に集約すること。	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	企画政策課、生涯学習課	
	地域交流教室の提供	地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRをしていく。 【使用料】4時間ごとに100円 【使用料免除対象】 ・学習活動(高校生以下の方が1人以上参加するものに限る)を行う場合 ・その他教育委員会が必要であると認める場合 【使用形態】 月～日曜日の9時～21時(高野山及び布佐小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時) 【場所】 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校:1教室、 第一小学校:238件(稼働率22.5%) 9団体 布佐小学校: 55件(稼働率11.3%) 2団体 湖北台西小学校: 94件(稼働率8.8%) 8団体 高野山小学校:152件(稼働率31.1%) 6団体 湖北台東小学校104件(稼働率10.0%) 7団体  ◇◆指標と実績◆◇ 【提供コマ数】4142コマ 【予約コマ数】1430コマ 【有料使用コマ数】420コマ	A. 成果・効果があった 市民団体やサークル等の交流や学習拠点として使用され、様々な活動を支援した。	A. 現状どおり推進	なし		生涯学習課
	公民館施設管理運営	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の修繕や定期点検を実施した。 ・修繕 1階女子トイレ自動水栓交換修繕、自動ドア修繕、畳修繕、多目的トイレ漏水修繕等 ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査、自家用電気工作物保安管理業務 ・樹木剪定、草刈業務 ◇◆指標と実績◆◇ 【保守管理執行率】 100% 生涯学習センター給水設備改修工事に伴う設計業務委託を実施した。 生涯学習センター防災設備改修工事を実施した。	A. 成果・効果があった 防災設備改修工事の実施や急遽発生した施設の修繕を行い、市民が安全に利用できるよう施設の維持管理を行うことで市民サービスの向上に繋がった。  施設の経年劣化が進行しているため、計画的な修繕が必要である。	A. 現状どおり推進 施設修繕計画に沿って、施設修繕箇所に対する適切な対応を行いたい。	なし		
102	生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をした。  ◇◆指標と実績◆◇ 【無線LAN設置箇所】 1箇所	A. 成果・効果があった	B. 改善・見直しを行う 今後、無線LAN(Wi-Fi)を利用できるエリア拡大に向け、インターネット接続環境を整備していく。	生涯学習センター施設内のWi-Fi環境を整備するため無線LAN増設工事を行う。	生涯学習課	
104	無線LAN(Wi-Fi)の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN(Wi-Fi)を利用できる設備を整備しパソコン等のバケット通信が快適に利用できる環境を整える。						

基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	105	施設予約システムの運用 公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	令和3年度に引き続き、ちば施設予約システムを利用した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【我孫子地区公民館】 利用件数 7,546 利用者数 101,683人 【湖北地区公民館】 利用件数 2,865 利用者数 53,211人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課 文化・スポーツ課
	106	市民体育館管理運営 指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理の委託 令和5年度から5年間アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理者が決定 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民体育館利用者数】 151,377人	A. 成果・効果があった 指定管理者制度を利用することで、様々なプログラムを提供することができ、市民の健康保持・増進に大きく寄与している。	A. 現状どおり推進	令和5年度より、指定管理者としてアクティオ・フクシ共同事業体を再指定。	文化・スポーツ課
	107	体育施設管理運営事業、維持補修 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北台中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	必要に応じて適宜対応していく。 ●維持管理 布佐下多目的広場、五本松運動広場整備業務、つくし野多目的広場管理運営、浅間前多目的広場草刈 ●施設修繕 五本松運動広場トイレ修繕、利根川ゆうゆう公園野球場スコアボード修繕・少年野球場ベンチ修繕 ◇◆指標と実績◆◇ 【体育施設利用者数】 84,893人	A. 成果・効果があった 市民が安全・安心に利用することができた。	A. 現状どおり推進	五本松運動広場でのサッカー場兼ラグビー場整備に向けて、整備基本計画策定業務を行う。	文化・スポーツ課
	108	武道施設の建設整備の検討 全国総合体育大会、国民体育大会で、なぎなた競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備の検討をする。	引き続き地権者交渉を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【整備進捗率】 0%	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	109	市民体育館維持補修、改修事業 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期補修、計画的な修繕を実施する。	計画的に維持補修・改修を実施 ●市民体育館維持補修 ・市民体育館排煙設備改修工事 ・市民体育館空調設備等更新工事 ・原材料の購入 ●市民体育館改修事業 ・市民体育館武道場床改修工事設計業務委託 ・市民体育館空調設備等更新工事 ◇◆指標と実績◆◇ 【修繕・改修工事の進捗率】 100%	A. 成果・効果があった 市民が安全・安心に利用することができた。 施設の老朽化が目立つ。	A. 現状どおり推進	市民体育館第2変電設備等更新工事、市民体育館給排水設備等更新工事設計業務委託を実施予定。	文化・スポーツ課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	110	<b>学校体育施設開放事業</b>  市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	●プール開放事業 7月28日(木) 我孫子第二小、我孫子第四小、根戸小、高野山小、並木小、湖北小、湖北台西小、新木小 7月29日(金) 安全点検(8校) 7月30日(土)から8月4日(木)まで 我孫子第二小、湖北小、湖北台西小、新木小 8月5日(金)から8月10日(水)まで 根戸小、高野山小、並木小、湖北小  ●学校開放事業 年間を通して市内小中学校施設(体育館・校庭・武道場)を開放 ◇◆指標と実績◆◆ 【プール開放利用者数】 2,898人 【学校体育館・校庭・武道場利用者数】149,908人	A. 成果・効果があった 地域のスポーツ振興に寄与することができた。  プール開放については、学校施設の老朽化及び異常気象により、屋外施設を予定通り開放することが困難となっているため、実施方法を変更する必要がある。	B. 改善・見直しを行う プール開放の手法を見直す必要がある。	プール開放事業については、学校施設を利用したの開放ではなく、民間事業者の室内プール施設の開放を行う。(委託・R5から事業名「プール開放事業」へ変更)	文化・スポーツ課
	111	<b>ふれあいキャンプ場管理運営</b>  市民が気軽に安全・安心にキャンプ場を利用できるよう、施設維持管理を行う。	市民に安全・安心にキャンプを楽しめる場を提供する。  ●管理運営 ふれあいキャンプ場管理運営・草刈り業務委託 ●施設修繕 ふれあいキャンプ場テールベンチ修繕・分電盤修繕 ◇◆指標と実績◆◆ ●ふれあいキャンプ場利用 【キャンプ場利用数】 817件(5,682人)	A. 成果・効果があった 我孫子の魅力発信となっている。	A. 現状どおり推進	駐車場内区画内修繕、キャンプ場内木柵修繕実施予定。	文化・スポーツ課
	112	<b>文化財等の保存と活用</b>  市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	新型コロナウイルス感染症予防のため中止していた、竹灯笼のタペ、ひなのまつりを開催した。 市内誘導板の更新を行うとともに、市内史跡の説明板設置を行った。説明板の設置にあたっては、より多くの情報を発信するために説明板にQRコードを掲載した。 旧湖北支所を文化財収蔵庫とするために耐震診断を行った。 ◇◆指標と実績◆◆ 旧村川別荘来場者数 3,554人	A. 成果・効果があった 文化財を保存だけでなく、整備し活用することで、多くの人々に文化財が持つ魅力を知ってもらう良い機会となった。	A. 現状どおり推進 新しいガイド組織の立ち上げなどを検討する。	なし	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点			
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	113	<b>杉村楚人冠邸の保存と活用</b>  杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知ってもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	<b>【展示】</b> ○企画展 3月15日(火)～5月15日(日) 「楚人冠がみた舞台芸術 ―オペラ・演劇・舞踊― 入館者283人(年度内のみ) ○テーマ展示 5月21日(土)～7月11日(日) 「寄贈資料展」入館者358人 ○杉村楚人冠生誕150年記念展示 7月12日(火)～10月2日(日) 「杉村楚人冠の青少年時代―名ジャーナリストの原点を探る―」入館者365人 ○企画展 10月8日(土)～令和5年1月9日(月) 「手紙に見る歴史の断片」入館者803人 ○テーマ展示 1月11日(水)～3月5日(日) 「てがみ展 楚人冠の仕事を支えた人々」入館者292人 ○企画展 3月7日(火)～5月7日(日) 「楚人冠がみた舞台芸術 ―オペラ・演劇・舞踊― 入館者101人(年度内のみ)  <b>【イベント】</b> ○夏休みワークショップ 8月6日(土)、7日(日) 「楚人冠を描こう―鉛筆で感じる楚人冠― 参加者3人 ○第11回楚人冠講座 8月11日(木) 「杉村楚人冠の生い立ち」講師:高木大祐(杉村楚人冠記念館学芸員) 参加者25人 ○講演会 9月25日(日) 「杉村楚人冠から折口信夫へ」講師:安藤礼二氏(多摩美術大学教授) 参加者16人 ○第12回楚人冠講座 12月10日(土) 「楚人冠邸に生えたキノコ」講師:武藤真奈(杉村楚人冠記念館学芸員) 参加者15人 ○ワークショップ「和綴じ豆ノートを作ろう」3月5日(日) 講師:工房レストア 平田正和氏 参加者38人 ◇◆指標と実績◆◆ <b>【来訪者(年間)】 2,202人</b>	A. 成果・効果があった  各種イベントの開催により、杉村楚人冠の魅力を発信することができた。  質の高い展示、講演会を実施しつつ、来訪者の増加と認知の向上を目指し、学生等若い世代へのPRに力を入れる必要がある。	A. 現状どおり推進  杉村楚人冠資料と楚人冠邸の魅力をアップさせるため、白樺文学館やほかの文学館と連携した展示やイベントを実施する。	なし	文化・スポーツ課	
	114	<b>旧井上家住宅の保存と活用</b>  旧井上家住宅の建物・敷地の維持管理を行いながら、建物を順次保存整備工事して後世に伝えていく。工事中も建物周囲の公開活用を図り、周知に努めている。	母屋や新土蔵を使ったイベントを開催し、旧井上家住宅の活用を行う。 ◇◆指標と実績◆◆ イベント数 6回 来場者集 2,892人	A. 成果・効果があった  イベント開催によって来場者数が増えた。また、対象が未就学児から中学生だったので、来場者の幅が広がった。  保存整備箇所を維持しつつ、適切に活用していく必要がある。	A. 現状どおり推進  邸内全域の保存整備工事完了を目指しつつ、部分公開事業などを積極的に推進する。	トイレを設置し、イベントの数を増やし旧井上家住宅の認知向上を目指す。		文化・スポーツ課
	115	<b>白樺文学館の運営</b>  大正期に我孫子に居を構えた白樺派の足跡を広く知ってもらうため、所蔵資料や作品などを活用し、企画展やイベントを実施する。	<b>【展示】</b> ○常設テーマ展 3月1日(火)～9月25日(日) 「民藝運動と我孫子」入館者1819人(年度内のみ) ○企画展10月1日(土)～1月29日(日) 「甲斐仁代生誕120年記念 甲斐仁代と原田京平―志賀直哉邸に集う画家たち―」入館者1374人 ○常設テーマ展 3月1日(火)～9月25日(日) 「白樺派と我孫子2023」入館者490人(年度内のみ)  <b>【イベント】</b> ○稲村雑談(学芸員展示解説講義)64人 ○白樺サロンのひととき(ピアノ・学芸員トークイベント)8人 ○朗読講座→中止 ◇◆指標と実績◆◆ <b>【入館者(年間)】 3,683人</b>	A. 成果・効果があった  各種展覧会PRにより、志賀直哉の遺族から大量に資料が寄贈された。  「白樺文学館リニューール計画」を進めるためにもさらなるPRに努め、寄付など財源の確保につとめる。	A. 現状どおり推進  白樺派の魅力を多くの方に知っていただけるように各種機関と連携しイベント、展覧会を推進していく。	なし		文化・スポーツ課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	117	移動図書館業務 移動図書館そよかぜ号の巡回により、図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者や、乳幼児を連れてきた親子等に学習の機会を提供する。	○移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金・土に市内17ステーションと市内小学校12校、中学校1校に巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。 ○市内小学校1校に配本を実施した。 ○高齢者施設(市内8施設)への配本を貸出からサイクル本の提供等、施設の運営状況に合わせて実施した。 ○小学校学童保育室(市内4校)への配本を団体貸出として実施した。 ○特別運行 ①図書館主催事業開催時 ②ステーション所在地の運営会社主催事業開催時 ③夏休みの学童保育室(市内2校) ◇◆指標と実績◇◆ 【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 52,299冊 (前年比 124.4%)	A. 成果・効果があった 天候により巡回中止となる場合もあったが、定期的に移動図書館を運行し、アピスタ本館・湖北台分館・布佐分館に来館しにくい高齢者や乳幼児連れの親子に対して学習の場を提供することができた。 小学校12校、中学校1校の児童・生徒に読書活動の場を提供することができた。 利用の少ないステーションに対して、引き続き利用が増えるようPR等工夫する必要がある。また、状況に応じてステーションの廃止または変更の検討も必要である。	A. 現状どおり推進 移動図書館車の購入については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、新車の購入ができた。大型車では巡回できない小学校や高齢者施設へは配本も実施している。	旧車両の不具合(雨漏り等)があり、学校巡回と通常巡回を統合し、新車両1台での巡回に切り替えた。	図書館	
	118	図書館の整備 各図書館、移動図書館の維持管理・運営形態について、「我孫子市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りながら、今後の老朽化を見据え、修繕等を計画的に進め、運営方針の見直しを行い、時代に合った図書館サービスを提供していく。	○移動図書館の旧車両は故障箇所が多くなり、安全な運行ができないと判断したため、学校巡回用に購入した新移動図書館車両を1台で運行する日程に変更し巡回した。 ○社会教育整備事業債等を活用し、布佐分館外部改修工事設計業務を行った。 ○今後10年間を見据え策定した「図書館運営 今後のあり方」にそって、サービス別の予定実施事業計画を組み、予算積算や次年度の事業に反映させた。 ○湖北台分館の老朽化が激しいことから、安全・安心な運営をしていくための方法を関係各課と協議した。その結果、令和5年度までは通常開館とするがそれ以降は臨時閉館とし、臨時窓口や移動図書館ステーションの増設等に対応し、湖北台地区公共施設整備の方針の第二期整備方針での検討に備えることとした。 ◇◆指標と実績◇◆ 【館内会議における進行管理報告と見直しの協議】 2回(ただし館内会議での進行管理報告として) →令和5年度からは長寿命化計画にそった改修・工事の達成度としたい。	A. 成果・効果があった 図書館運営の今後のあり方を策定し、サービス別予定事業の計画も立てたことで、今後の図書館サービスの道筋を見ながら業務を実施することができた。 現在の運営方法を維持しつつ、市民ニーズを把握しながらサービスを実施していく必要がある。長寿命化計画にそった施設整備をするための予算の確保が課題となっている。	A. 現状どおり推進 図書館運営今後のあり方とサービス別予定事業の計画にそって年度ごとにサービスを実施する。また見直しも適宜おこなっていく。施設整備に関しては長寿命化計画にそって予算措置を図っていくが計画以外で不具合が出た場合はその都度検討とし安全安心な運営を目標とする。	なし	図書館	
	119	図書館会議室及び展示スペースの提供 図書館の会議室や展示スペースを活用し、市民の自主的な学習の機会と発表の場を提供する。	○布佐分館会議室を貸し出した。 ○湖北台分館・布佐分館の館内壁面を作品の発表の場(ミニギャラリー)として市民に提供した。 ＜布佐分館＞ 第一会議室(申請に応じて随時)、第二会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年12回) ＜湖北台分館＞ ミニギャラリー(年12回) ＜企画展示＞ ・布佐分館第一会議室のギャラリー機能(スポットライト設置)を利用した市民による展示 5月14日～5月22日、「野崎信一あびこの魅力水彩画展」(布佐分館開館35周年記念として開催) ・文化スポーツ課との共催展示 11月1日～11月27日「布佐竹内神社例大祭パネル展」 ◇◆指標と実績◇◆ 【布佐分館会議室の年間利用回数】 169回(前昨年度比 179.7%) 【壁面ギャラリー利用率】 ＜布佐分館＞ 100% ＜湖北台分館＞ 100%	A. 成果・効果があった 市民団体による会議室利用回数は回復傾向にある。また、企画展示により第一会議室をギャラリーとして利用したモデル事業を実施し、PRすることができた。 会議室については、市役所内へ利用の呼びかけを行っているが、未利用の日もあり、一層の利用促進に努める必要がある。	A. 現状どおり推進 布佐地区は公民館未設置であることから、学習活動の場・地域活動の場として会議室は重要である。今後も引き続き推進していく。また、第一会議室のギャラリー機能付加による利用のPR等を行っていく。	なし	図書館	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	120	鳥の博物館管理運営  博物館施設を来館者が恒久的に利用できるように、経年変化により劣化した施設設備を補修し機能を維持する。省エネに配慮した設備に転換していく。	政策事業である「鳥の博物館設備改修工事設計業務委託」(5月～9月)、「2階常設展示電球更新工事」(9月～12月)、冷水機(9月)、テラスベンチ撤去(12月)はそれぞれ予定通り実施した。 その他については必要が生じた時点で対応した。 ◆◆指標と実績◆◆	A. 成果・効果があった  不具合箇所を速やかに修繕することで、来館者の安全確保や館内環境の改善が図れた。  施設の老朽化により大規模修繕が必要となっており、財源を確保する必要がある。	A. 現状どおり推進  不具合が見つかった場合は、修繕箇所の優先順位をつけ、速やかに対処するなど、快適な館内環境の維持に努めていく。	なし	鳥の博物館	
	122	鳥の博物館展示リニューアル  鳥の博物館内常設展示をリニューアルし、魅力的な展示により、質の高い情報を提供できるようにする。	「鳥の博物館の運営方針及び実施計画」の見直しを行うとともに、リニューアル基本計画策定に向け、検討委員会を設立するために要綱を制定した。また、鳥の博物館学芸員で常設展示のリニューアルに必要な情報(展示構成、展示デザイン、経費等)を収集し・整理した。 斃死鳥などの資料収集、標本作りを進めた。 ◆◆指標と実績◆◆	A. 成果・効果があった  展示リニューアルに向けた下準備が整った。  開館以来、常設展示リニューアルを実施できていない。	A. 現状どおり推進	鳥の博物館展示リニューアル基本計画検討委員会(以下検討委員会)を開催し、基本計画の作成に取り組む。	鳥の博物館	
	186	文化財保存活用地域計画の推進  市内に数多く存在する史跡や文化財をネットワーク化し、魅力を向上させて、次世代に継承していく仕組みとして平成19年度に「手賀沼文化拠点整備計画」を策定し、この整備計画に基づき先導的に我孫子駅南東地区を中心として平成30年度まで史跡の保存・整備などを実施した。今回の文化財保存活用地域計画は、手賀沼文化拠点整備計画の基本理念と合致するものであり、かつ、自然体を対象とした計画である。この計画を策定することによって、史跡の計画的かつ継続的な保存と活用につなげていく。	●我孫子市文化財保存活用地域計画協議会の開催 2回(8月31日、3月30日) ◆◆指標と実績◆◆ 文化財保存活用地域計画協議会の開催回数 想定値2回 実績値2回	A. 成果・効果があった  文化財保存活用地域計画協議会を予定通り実施できた。	A. 現状どおり推進  計画に沿って文化財の保存活用を進めていくとともに、協議会内で進捗を確認する。	なし	文化・スポーツ課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用							
123	手賀沼ふれあいウォーク 手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	●手賀沼ふれあいウォーク 【日程】※新型コロナウイルス感染状況の見込みがたたないため中止。 【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会(我孫子市、NPO法人千葉県ウォーキング協会、北総歩こう会、東葛ウォーキングクラブ、千葉県ノルディック・ウォーク連盟) ※平成30年度まで柏市と共催で実施してきたが、柏市が事業廃止したことに伴い、令和元年度より我孫子市単独で、実行委員会形式をとって実施している。 ◇◆指標と実績◇◆ 【手賀沼ふれあいウォーク参加者数】 ※新型コロナウイルス感染状況の見込みがたたないため実績なし。	C. 未実施・わからない ※新型コロナウイルス感染状況の見込みがたたないため中止したため。	C. 廃止・休止 財源に相当する収入の見込みがなくなっており、ガス展との同時開催の可否がはっきりせず、集客の効果が見込めない。	②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 イベント開催を令和5年度から中止。		健康づくり支援課
124	近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進 近隣市町との体育施設相互利用や、民間等体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに楽しめる環境を整備する。	茨城県取手市と体育施設の相互利用を実施 ミナスポーツクラブ天王台の民間施設利用 川村学園女子大学グラウンドの一般開放 ◇◆指標と実績◇◆	A. 成果・効果があった 我孫子市内に整備されていない施設を市民が利用することでスポーツに親しむことができた。	A. 現状どおり推進	なし		文化・スポーツ課
125	手賀沼エコマラソン支援事業 「よみがえる手賀沼・さわやかに走ろう!」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	●第28回手賀沼エコマラソン 【日程】10月30日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ◀柏・我孫子市民枠▶3,000人 ◀一般枠▶7,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 日本陸連公認大会 【募集人数】10,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の昂揚 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市 ◇◆指標と実績◇◆ 【手賀沼エコマラソン出走者数】6,431人	A. 成果・効果があった 市内外から多くのランナーにご参加いただけました。 コロナ明けの開催であったが、以前と比べ参加者数が減少傾向である。	A. 現状どおり推進	団体戦を実施予定。		文化・スポーツ課
126	市外図書館・大学・関係機関との連携協力 千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。	○千葉県立図書館巡回車(週1回水曜日)による県内図書館相互貸借業務 ○相互協力担当者会議(年1回) ○市内大学との連携による利用紹介発行・図書相互貸借業務…新型コロナウイルス感染症拡大の影響で停止していたが7月から再開した。 ○国会図書館・大学図書館・県外公共図書館との図書相互貸借業務 ○千葉県公共図書館協会職員理事事務 ○事業 ○国立国会図書館デジタル化資料複写 11件 459枚 ○市内大学への紹介状発行 35件 ○他市大学への紹介状発行 1件 ◇◆指標と実績◇◆ 【年間相互貸借冊数】8,257冊	A. 成果・効果があった 専門的なことや、多種多様な市民の要望に対し、広くその要望に応えることができた。 全国の同規模の図書館の中でも図書館間借受冊数が上位に位置しているように、相互協力による借受は活発であるが、必要な資料は揃えることができるよう資料費やデータベースの確保に努める必要がある。	A. 現状どおり推進	なし 市民の多様な資料要求に対応するため、市外図書館、大学図書館、関係機関との連携・協力は不可欠であり、今後も継続して推進していく。		図書館

基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり				基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり			
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充				①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充			
127	(No.91再掲) 生涯学習出前講座の運営						生涯学習課
128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録  自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。 【講座登録数】(令和4年6月現在) 市民講師メニュー 130 講座 【講師登録数】(令和4年6月現在) 講師: 44 人 団体: 6 団体 ◇◆指標と実績◆◇ 【新規登録数】市民講師: 2人 団体: 0団体	A. 成果・効果があった  市民講師講座数が増え、メニューが充実した。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。  なし	A. 現状どおり推進  出前講座のPRの中に、市民講師へ登録の内容も盛り込み、登録数を増やす。	なし		生涯学習課
129	(No.23再掲) 生涯学習人材バンクの整備						生涯学習課
130	アビスタ利用者保育スタッフ事業  生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全60回 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 《託児対象児》2歳から就学前までの幼児  ◇◆指標と実績◆◇ 【保育利用者】 35人 【利用者内訳】 《毎週水曜日》 【利用回数】 50回 【利用者】 21人 《公民館事業(家庭教育学級、単発講座及び図書館講座)》 【利用回数】 10回(5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月) 【利用者】 7人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし		生涯学習課
131	(No.24再掲) 生涯学習ボランティア						生涯学習課
132	文化事業市民スタッフの活用  教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施する。 【委嘱期間】4月1日～3月31日  【委嘱人数】 27人 【派遣件数】 4件 【派遣人数】 20人 【派遣件名】 トロイメメルコンサート、文化祭オープニングセレモニー、郷土芸能祭、めるへん文庫表彰式 【業務内容】 受付、ドアマン、影アナ 他 ◇◆指標と実績◆◇ 【登録人数】 27人	A. 成果・効果があった  市民スタッフを派遣することで、舞台運営を円滑に行うことができた。	A. 現状どおり推進	なし		文化・スポーツ課

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充							
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	133	<b>防災士及び災害救援ボランティア育成事業</b> 防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し防災リーダーを育成することで、共助による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の原点を自然発生的に芽生えさせ、自主防災組織の組織化と活性化により、我孫子市における防災力や減災力の質的向上に努める。	<b>●災害救援ボランティア補助金交付</b> 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】随時</b> <b>【補助額】</b> 受講料の3分の2以内、一般：9,200円・学生：6,700円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 <b>●防災士補助金交付</b> 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】随時</b> <b>【補助額】</b> 受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民（自治会、自主防災組織の推薦を受けた者） <b>◇◆指標と実績◆◇</b> <b>【災害救援ボランティア講座 助成者数】</b> 一般 11人 学生 3人 <b>【防災士 助成者数】</b> 3人	A. 成果・効果があった 4年度も多くの方の災害救援ボランティアの資格取得者がいた。また、防災士の資格取得者は前年度よりも増加しており、地域での防災力、減災力の向上につながっている。	A. 現状どおり推進	なし	市民安全課
	135	<b>介護予防サポーター養成講座</b> 高齢者が住み慣れた地域の通いの場において介護予防の取り組みが行えるよう、団体リーダー（シニアリーダー）向けに研修会（フォローアップ研修含む）を実施します。また、研修に参加したリーダーが、日頃の活動において介護予防の普及・啓発が行えるよう支援します。	3回1コース 15団体、102名 <b>【講話】</b> 介護予防について 栄養について <b>【実践】</b> ストレッチ、筋トレ、バランス 尿もれ予防体操 認知症予防運動 拮抗体操、口腔体操 <b>◇◆指標と実績◆◇</b> 15団体、102名の方が研修を受講され、研修会で実施した「筋トレや認知症予防運動等」のプログラムを日々の活動に取り入れてたい等の反応があった。	C. 未実施・わからない	B. 改善・見直しを行う 理学療法士を各サロンに派遣し、サロン参加者が直接指導を受ける形に変更。	あびこ版フレイル予防DVDを作成し、各サロンに配付する。 理学療法士を各サロンに派遣し、サロン参加者が直接指導を受ける形に変更する。	高齢者支援課
	136	<b>子育てサポーター養成講座</b> 核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、地域における子育て力を強化するため、子育てを支援する人材を育成する。	<b>●子育てサポーター養成講座（第11期生）</b> <b>【日程】</b> 9月5日（月）～7日（水） <b>＜講座＞</b> 2日間 <b>＜救命救急講習＞</b> 1日間 <b>＜子育て支援センター体験実習＞</b> 2日間各90分 <b>【場所】</b> 我孫子南近隣センター、消防本部西消防署、各市内子育て支援施設 <b>【内容】</b> 子どもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など <b>【対象】</b> 市内在住の20歳以上の方、または市内小規模保育事業所に従事している方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 <b>【定員】</b> 15人 <b>◇◆指標と実績◆◇</b> <b>【子育てサポーター養成講座受講生】</b> 5人 <b>【子育てサポーター人数】</b> 43人 <b>【子育て応援隊訪問数】</b> 26件	A. 成果・効果があった 子育てサポーター養成講座の受講者及び登録者は減少傾向だが、子育て支援施設での行事の補助や、公共施設での子育てイベントの補助にも意欲体に参加するサポーターは多く、必要数は確保できている。 子育てサポーター登録者の平均年齢が上がっており、更新しないサポーターも増えてきた。	A. 現状どおり推進 地域の力を生かせる子育てサポーターの育成を行っている。	なし	保育課

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり ②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	137 環境レンジャー活動への支援 環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動への関心を高める。	●ネイチャー・イン企画の開催を行う。 4月16日(土) 春の谷津の自然観察 7月30日(土) ホテル観賞会 11月19日(土) ハケの道～自然と史跡散策～ 1月29日(日) 手賀沼の冬鳥船上観察会 ●Enjoy手賀沼！2022 【日程】5月8日(日) 生き物ぬり絵を楽しみ、野鳥カードをゲットしよう！ 参加者622名 ●市民のチカラまつり2022 【日程】9月24日(土) 缶バッジを作ってみよう 参加者40名 ●環境レンジャー通信「たまっけ」の発行 【発行日】4/15(83号) 10/15(84号) 1/15(85号) ●エコ・こども教室の開催 新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン配信(第27回あびこ子どもまつりHP内) ●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。 ◇◆指標と実績◆◇ ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】 13人(途中退会者・サポーター含まず)	A. 成果・効果があった ・環境ボランティアリーダーとして環境イベントを開催 環境レンジャー人数の減少	B. 改善・見直しを行う 環境レンジャー人数の減少により、単独でのイベントの開催が難しくなってきた。	なし	手賀沼課
	138 緑のボランティアの森づくり 森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日 《古利根自然観察の森活動》【日程】偶数月第2土曜日、第4水曜日・奇数月第2日曜日第4水曜日 《古利根沼水辺の活動》【日程】毎月第3水曜日 《中里市民の森活動》【日程】奇数月第4日曜日 《岡発戸市民の森活動》【日程】偶数月第4日曜日 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加延べ人数】173人	A. 成果・効果があった みどりのボランティアの協力により、古利根沼や斜面林、岡発戸・中里市民の森の維持管理が適切に行われ、市民が自然を享受する場を提供することができた。	A. 現状どおり推進	なし	公園緑地課
	140 生涯学習審議会委員の研修 生涯学習や社会教育に関する知見を深めてもらうとともに、委員間の連携強化を図るため、研修会及び振興大会に参加する。	【実施回数】3回 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市合同で研修会及び振興大会を行う。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 【日程】8月19日(金) 【場所】 県教育庁 東葛飾教育事務所 東葛飾研修所 【内容】「持続可能な社会教育の推進について～少子高齢社会のなかで生涯自分らしく生きるには～」 ●東葛飾地区社会教育振興大会 【日程】10月14日(金) 【場所】 流山市中央公民館 【内容】①実践発表 我孫子市、鎌ヶ谷市 ②記念講演 「学校教育から社会教育への架け橋的学び～生涯学習者の礎を育てる～」 ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係者合同研修会 【日程】1月19日(木) 【場所】 我孫子市生涯学習センター 【内容】①講話 「我孫子市遺産について」 ②視察 白樺文学館、杉村楚人冠記念館	A. 成果・効果があった 審議会委員の知見の向上に寄与した。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
③学んだ成果を評価するしくみの構築							
143	市民参加型コンサート  市内音楽愛好家の交流の場と成果を発表する機会を提供するため、市内在住、在勤、在学等の方が出演するコンサートを開催する。	●市民参加型コンサート  【事業名】トロイメタルコンサート 【日程】令和4年8月28日(日) 【内容】合唱、金管楽器、木管楽器のアンサンブル、太鼓の演奏会 【開催場所】湖北地区公民館 ホール ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】52人	B. あまり成果・効果がなかった  来場者が少なかった。  事前の宣伝方法や開催場所について検討が必要。	B. 改善・見直しを行う	なし	文化・スポーツ課	
144	文化祭  多くの市民が参加し、文化芸術に触れ親しむ機会を提供するとともに、市民の文化芸術に関する関心を高める。	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。 【日程】10月1日(土)～11月23日(水・祝) 【開催場所】けやきプラザ、市民プラザ、アピスタ、湖北地区公民館、つくし野コミュニティホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】 <展示部門> 華道、東洋蘭、絵画、さつき、手工芸、きもの、書道、北部地域 <発表部門> 洋舞、歌謡曲、管弦楽、アンサンブル、軽音楽、謡曲、フラダンス、日舞、三曲 詩吟、舞踊、アルゼンチンタンゴ、合唱、けやきウインドアンサンブル、北部地域 <各種文化> 短歌 俳句、囲碁、茶会  《オープニング展示》華道・書道・短歌・俳句・絵画の展示 寄贈絵画展「手賀沼の風景」鈴木 喜三男 【日程】10月1日(土)～10月11日(火) 【開催場所】水の館 手賀沼ステーション(1F)、ミニギャラリー(3F) ◇◆指標と実績◆◇ 【開催団体数】26団体	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	
146	めるへん文庫  子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫の表紙絵・挿絵の原画展示を行う。	●めるへん文庫 【対象】全国の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】6月1日(水)～9月7日(水)  《表彰式》 【日程】令和5年2月26日(日) 【受賞】小学生の部 1席1名、2席1名、3席4名 中学生の部 1席1名、2席1名、3席5名 高校生の部 1席1名、2席1名、3席1名 古登正子賞 1名 ※1席及び古登正子賞受賞作品を朗読し、YouTube配信を行った。 動画撮影・編集等は業者に委託し、朗読と朗読の挿入曲を白樺文学館の市民スタッフに依頼した。  ◇◆指標と実績◆◇ 【作品応募数】130編	A. 成果・効果があった  朗読動画のYouTube配信を行ったことで、より、子ども達の創作意欲の向上につながった。	A. 現状どおり推進	募集から一次審査の業務を民間業者に業務委託をする。	文化・スポーツ課	
147	(No.50再掲) 郷土芸能への支援					ポ 文 化 課	
148	(No.125再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業					ポ 文 化 課	

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 5 学びにつながるまちづくり					基本目標 5 学びにつながるまちづくり		
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実					①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		
149	市民のチカラまつりの実施 市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	<p>●市民のチカラまつり 【日程】(まつり部門)9月24日(企画部門)9月25日※令和4年8月～令和5年2月まで実施 団体ごとに講演会を分散して開催【場所】けやきプラザ(2階第1・2ギャラリー、ふれあいホール、我孫子南近隣センター、10階市民活動ステーション)アビシルベ、アビスタ・ストリート 【内容】(まつり部門)展示・参加型企画・ステージ(企画部門)講演会 【参加者】 ○お祭り部門(けやきプラザ)751人(昼間来場者394人、夜コンサート来場者357人)、参加団体45団体 ○企画部門295人、参加団体6団体</p> <p>●出張市民のチカラまつり 【日程】(ポスター展)11月1日～11月30日(イベント)11月5日【場所】近隣センターふさの風【内容】展示・参加型企画【参加者】101人 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民活動をはじめた人数】262人</p>	<p>A. 成果・効果があった 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインと対面式の併用での実施であったが、令和4年度は対面式での実施ができ、参加者も前年度に比べて増加した。 まつり部門では親子で楽しむ内容が中心となったため、シニアの参加ができる催しの企画が必要であった。 出張市民のチカラまつりでは集客が課題であった。</p>	A. 現状どおり推進	今までは連続した2日間でイベントを実施していたが、運営側の負担が大きかったため、6月と9月の2回に時期を分けて実施。	市民協働推進課	
150	(No.61再掲) あびこ子どもまつり	※担当課の進行管理による					子ども支援課
151	(No.62再掲) げんきフェスタ	※担当課の進行管理による					子ども支援課
152	学校支援事業の充実 学校の教育活動を充実させ、その教育力の向上と「子ども達の豊かな学び・体験」を実現するため、市内全小中学校で組織されている地域学校協働本部の活動を充実させ、地域の社会教育団体・施設とのネットワーク構築を進めるとともに、地域住民・保護者・高校生や大学生などによる学校支援ボランティアの拡充を図る。	<p>・地域学校協働本部が中心となり、地域の社会教育団体・施設とのネットワーク構築を進めるとともに、地域住民・保護者・高校・大学などと連携しボランティア人材を確保する。 ・学校の教育活動支援に対するニーズを把握するとともに、活動の年間計画を作成する。 ・地域学校協働本部事業について、その目的と意義を再度周知して学校全体として取り組めるようにする。 ・中学校区での地域学校協働活動推進員の活動が充実するように、中学校区での会議や情報共有の場を設定していく。 ・高校・大学と連携して、学生によるボランティア活動をさらに進められるようにする。</p> <p>【場所】市内小中学校 19校 【実働人数】 ≪小学校≫延べ 25,724人 ≪中学校≫延べ 6,773人 ◇◆指標と実績◆◇ 【ボランティア活動従事人数】30,000人(小中学校延べ)</p>	<p>A. 成果・効果があった コロナ禍によってボランティアが学校に入ったり、子ども達と直接触れ合ったりする機会が限られていたが、年度途中から制限が緩和され、ボランティア延べ人数も回復の傾向にあった。子ども達の豊かに学びはもちろん、教職員の働き方改革にも資するため、事業への実質的な満足度は高い。地域にとっても子ども達との触れ合いや自分の得意分野を生かした学校支援にやりがいを感じる方が多く、地域コミュニティ活性化にもつながる。 令和4年度、コミュニティ・スクールのスタートに伴って、学校支援地域本部から地域学校協働本部へと名称はもちろん、その役割も大きく変わったが、その意義について周知するとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するための意識改革が必要。</p>	A. 現状どおり推進	コミュニティ・スクール2年目を迎えることから、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進、また、我孫子市の教育施策の柱である小中一貫教育との推進を図る。また、地域から学校への一方的な支援ばかりではなく、学校の地域貢献などについて、できる可能性を模索していく。	指導課	
153	(No.22再掲) 生涯学習学習相談体制の整備						生涯学習課
154	(No.66再掲) 長寿大学						生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
			成果 課題				
155	(No.69再掲) 家庭教育学級						生涯学習課
156	(No.70再掲) のびのび親子学級						生涯学習課
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成							
158	<b>在在外国人支援事業</b>  在在外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日35回、土曜日35回 【開催方法】火曜日=オンライン(3回対面) 土曜日は隔週ごとに対面授業とオンラインで行った 【所要時間】1回あたり約1時間30分 【受講生】77人 【ボランティア講師】28人</li> <li>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【相談件数】23件 【登録相談員】11人</li> <li>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【通訳件数】4件</li> <li>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳実績】「広報あびこ」主要記事の英訳(年12回、A4記事4ページ)、ごみの分別の英訳、妊娠届及び質問書の英訳 ◇◆指標と実績◆◇ 【外国人のための日本語教室開催数】70回</li> </ul>	A. 成果・効果があった  <ul style="list-style-type: none"> <li>●外国人のための日本語教室 新型コロナウイルスの感染を防ぐためオンラインでの授業を取り入れ、在在外国人の日本語学習の機会を確保するとともに、一時帰国した学習者、海外に転居したボランティアも休むことなく授業に参加できた。</li> <li>●外国人相談窓口事業 日常生活や教育、病院、市からのお知らせ等に関する質問や問い合わせに第一次相談窓口としてAIRA事務局が対応した。専門的な内容については専門機関へつなぐことで、相談者の抱える問題解決に努めた。</li> <li>●外国人通訳派遣事業 新型コロナの影響により行事が例年どおり実施されなかったが、教育相談センターからの依頼により、ペルー人お子さんの就学に関し、学校側との話し合いに通訳を派遣した。また、学校教育課からの依頼により、住居及びお子さんの教育に関する通訳を派遣した。</li> <li>●簡易な文書の翻訳業務 市が発信する情報の英訳により、幅広い層へ情報発信することができた。</li> </ul>	A. 現状どおり推進  引き続き、在在外国人の生活支援に必要な業務をAIRAに委託する。	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成  新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類に移行されたことから、日本語教室における対面での授業を再開する方向で進めていく。	企画政策課	
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成 基本目標 5 年							

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
び で つ な が る ま ち づ く り	159	<b>公募補助金制度の運用</b>  市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。	<b>●公募補助金の運用</b> 公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50まで。  <b>【応募資格】</b> 営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象。 ①5人以上で構成されていること。 ②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。 ③政治や宗教を主たる目的としないこと。 ④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や教育委員会と共催する事業・活動でないこと。 ⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。 ⑥前年度(令和3年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。 ◇◆指標と実績◆◆ <b>【公募補助金交付件数】 7件</b>	<b>A. 成果・効果があった</b> 市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。  <b>【次年度申請分審査状況】</b> 審査申請: 1件 審査結果: 採択 1件  制度の趣旨としては、交付団体に最終的に自立した運営をすること目的としているが、自立した団体は少ない。また、新規申請団体が減少しているため、申請がしやすいように制度の枠組みを見直す必要がある。	<b>B. 改善・見直しを行う</b> 現在の既存団体を支援するためには、現状のとおり推進をしていく方向ではあるが、制度開始後15年以上が経過していることもあり、制度内容の再検討は必要と考える。	なし	市民協働推進課
	160	<b>市民公益活動補償制度の運用</b>  市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合や、市民団体が損害賠償責任を負った場合の補償を行い市民の活動を支援する。	<b>【対象者】</b> 主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除く。 <b>【補償の種類】</b> 傷害、損害賠償  <b>【支払】</b> <b>《傷害》</b> ・支払件数: 6件、未払い3件 ・支払金額: 233,000円 ◇◆指標と実績◆◆ 市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任について補償する。  指標: 補償率 実績: 100%	<b>A. 成果・効果があった</b> 市民活動を支援していく側面として、活動中における補償も必要であるため支援を継続する。	A. 現状どおり推進	なし	市民協働推進課
	161	<b>資源循環型社会に関する市民講座への派遣</b>  資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	<b>《長寿大学》</b> <b>【日程】</b> 令和3年6月10日(木)10:00~12:00 <b>【場所】</b> 湖北地区公民館 <b>【内容】</b> 「ごみと資源」その他事前質問に回答 <b>【参加者】</b> 長寿大学 4学年(45期生) 42名  ◇◆指標と実績◆◆ <b>【最終処分量】</b> 2,758t 116.03% (目標値3,200t)	<b>A. 成果・効果があった</b> 廃棄物施策に対する市民の理解が深まった。  職員減による講師不足、解体工事等に伴う施設見学の一時中止	A. 現状どおり推進	なし	クリーンセンター(手賀沼センター)

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
162	<p><b>我孫子市創業支援等事業</b></p> <p>市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援等事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、ビジネス交流会、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。</p>	<p>●『実践創業塾』 【日時】令和4年9月11日(日)・9月25日(日)・10月9日(日)・10月23日(日) 9:15～17:00 【場所】生涯学習センター(アピスタ・ホール) 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方などなたでも。定員20名 参加者24名 【費用】8,000円</p> <p>●『我孫子市ビジネス交流会』 【日時】令和4年11月26日(土) 13:30～15:30 【場所】我孫子南近隣センター(けやきプラザ9階) 【対象者・定員・参加者】起業予定者、事業経営者、ビジネスの人脈を広げたい方。定員20名 参加者14名</p> <p>●『起業個別相談会』 【日時】令和4年12月10日(土) 9:00～15:00 【場所】我孫子市商工会 【対象者・定員・参加者】市内でこれから起業する方、起業して5年以内の市内事業者 定員15名 参加者8名 【費用】無料</p> <p>●『女性起業支援フォーラム』 【日時】令和4年2月4日(土) 14:00～16:00 【場所】我孫子南近隣センター 【対象者・参加者】起業に関心のある女性、市内在勤の女性、市内の女性事業者 参加者18名(定員20名) 【費用】無料</p> <p>●『創業スクール』 &lt;上期&gt;【日時】令和4年7月2日(土)、7月9日(土)、7月16日(土)、7月23日(土) 10:00～16:00 【場所】習志野市役所 【対象者・定員・参加者】県内で創業を予定している方、創業して間もない方。定員30名 参加者:初日34名、2日目32名、3日目32名、4日目30名(我孫子市民3名) 【費用】無料 &lt;下期&gt;【日時】令和5年1月14日(土)、1月21日(土)、1月28日(土)、2月4日(土) 10:00～16:00 【場所】松戸商工会議所 【対象者・定員・参加者】県内で創業を予定している方、創業して間もない方。定員30名 参加者:初日31名、2日目30名、3日目30名、4日目29名(我孫子市民2名) 【費用】無料</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【起業者数】 令和4年度の起業者数は8名(法人5名・個人3名)※このうち、実践創業塾からの起業者は4名(法人3名・個人1名)、創業スクールからの起業者は3名(法人2名、個人1名)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>国の認定を受けた我孫子市創業支援等事業計画に定めた起業者目標数(令和4年度目標値:累計77名、実績値:累計72名)を概ね達成していることから、各施策共に効果があったと考える。</p> <p>一つの支援事業を受けただけで起業できる方は少ないので、複合的な支援が必要と考える。今後も起業者数を継続的に増やしていくため、これまでも実施してきたアンケート調査等を継続し、より起業予定者のニーズに合った支援を行っていく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	企業立地推進課

②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成  
基本目標 5 学びでつながるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容		令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり ②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成	163	市民の学習活動への支援  広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページ登録・提供し活用を図る。	生涯学習情報の発行とホームページを主とした情報の発信を行った。生涯学習団体グループについては、随時ホームページの掲載内容の更新を行った。  ◆◆指標と実績◆◆ 【生涯学習トップページのアクセス数】4,422件 【生涯学習情報発行部数】2,000部 【新規登録数】人材情報：3人 団体情報：2団体	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
	164	(No.25再掲) 視聴覚教材・機材の管理及び貸出					生涯学習課
	165	社会教育団体活動支援  市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体が行っている事業の共催及び後援等を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●後援 市民団体の後援申請に基づき、26団体、26事業の後援を行った。  ◆◆指標と実績◆◆ 【後援事業数】26事業	A. 成果・効果があった 後援33事業を行い、市民の社会教育活動の一助となった。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
	166	文化芸術団体活動支援  文化芸術団体の活動を支援し、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	文化団体が主催する活動について、後援、協力等の支援を行う。 ◆◆指標と実績◆◆ 【協力事業数】15件 【後援事業数】64件	A. 成果・効果があった 文化芸術団体等が実施している事業の支援を行うことにより、活動の活性化が図れた。	B. 改善・見直しを行う 受益者負担の観点からも、共催扱いとしている事業の精査を行う。	なし	文化・スポーツ課
	167	(No.95再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～					文化・スポーツ課
168	施設・団体への図書等の貸出サービス  市内団体の自主活動や学級文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	○学級文庫…特別支援学級へ貸出をおこなった。40冊まで、学期間。 ○各種団体への貸出…家庭文庫・読書会をはじめ、保育園、幼稚園、学童保育室、ボランティア団体、福祉施設などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で、依頼があった場合に随時貸出をした。 ○読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。 ○庁内支援サービス…市役所各課の政策立案・企画等に必要図書資料の貸出や情報提供を行った。(図書・雑誌40冊まで、期間1ヵ月。CD・カセットテープは10点まで、期間2週間)  【団体数と年間利用数】 478団体 2,372回 ◆◆指標と実績◆◆ 【年間団体貸出冊数】34,230冊(前年度比 227.7%)	A. 成果・効果があった 団体貸出サービスは、団体数・団体貸出冊数ともに一定のレベルを維持している。市内団体の自主活動や子どもの読書環境を支援するためにも必要な事業であった。  市民の学習機会を充実させるために、重要な事業であるため、今後も引き続き推進していく。	A. 現状どおり推進 今後も引き続き、団体貸出サービスの利用の促進を図っていく。	なし	図書館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
5	169	鳥に関する学習への支援  鳥に関する正しい情報を提供するため、常設展示室、企画展示室にて鳥に関する解説を学芸員や市民スタッフ展示交流員が行う。多目的ホールのバードボックスの使い方などもレクチャーするとともに、鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付け、博物館資料を使った大学院生などの研究への協力も行う。	●鳥の科学作品展 我孫子市小・中学校科学作品展において出展された科学作品の中から、鳥をテーマとした作品を借用し、翌年度の夏休み期間に鳥の博物館内に展示し、小・中学生の夏休みの自由研究の参考資料に供している。  ●市民スタッフによる展示交流 令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為活動を中止した。  ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問・相談を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。 【問合せ件数】年間181件(夏休みの自由研究に關しての質問対応も含む)  ●調査研究への協力 博物館標本資料等の貸出・閲覧を行った(通年)。 【館内】 33件(253点) 【館外】 3件(20点) 標本資料サンプルの提供 【館外】 1件(約60点)  ◇◆指標と実績◆◇ 【団体系館者の解説件数(ガイドツアー含む)】 令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、展示解説を中止した。	A. 成果・効果があった  令和4年度も展示解説を中止した。しかし、鳥に関する質問については電話・手紙・館内で随時受付を行った。	A. 現状どおり推進	市民スタッフによる展示交流活動を再開する。	鳥の博物館
	170	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援  市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	●市民スタッフ(21名) 環境学習リーダーや来館者へのガイド役として必要な体験や学習を習得するための支援を行う。 令和4年度においては新型コロナウイルス感染症対策の為、展示交流活動を自粛した。 【活動内容】夏の遊びと研究大集合、てがたん、あびこ自然観察隊(参加日数延92日)  ●友の会(234名) サークル活動への場の提供や情報提供による支援を行う。 新型コロナウイルス感染症対策の為、友の会ルームの利用人数を制限して参加人数を減らして活動を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【友の会・市民スタッフ登録者数】 指標:320人 実績:255人	A. 成果・効果があった  新型コロナウイルス感染症対策の為、市民スタッフの館内の展示交流事業を行うことが出来なかった。 我孫子市鳥の博物館友の会は人数を制限するなどしながら会の活動を行えるようにした。「友の会展」(R4.12.10～R5.1.27)を開催した。  新型コロナウイルスの影響で活動が休止していたため、市民スタッフ活動にプランクができています。新たな市民スタッフを募集するなど新陳代謝のサイクルを作る必要がある。	A. 現状どおり推進	市民スタッフの展示交流担当業務を再開する。11月から休館予定のため、今年度は友の会展は実施しないが、5月と1月に工作や鳥風イベントを共催で実施する。	

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築		③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築				
171	我孫子市国際交流協会（AIRA）との連携 国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会（AIRA）と共催であひこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。	<p>●国際交流スピーチ大会 【日程】9月25日（日） 【場所】市民プラザ多目的ホール 【内容】英語の部4名、日本語の部4名、レシテーション1名が発表。審査の時間帯には、野口昇氏によるミニ講演「UNESCOと歩いた50年～国連機関で働く“論理”と“人情”～」をオンラインで実施。</p> <p>●第30回あひこ国際交流まつり 【日程】11月27日（日） 【場所】市民プラザ 【内容】タジキスタン民族舞踊、ハンドパン演奏・紹介、マンドリン演奏、南京玉すだれ、お囃子、獅子舞、外国語講座生・日本語教室生徒による動画の紹介外国と日本語クラスの紹介展示、キプロス、スロベニア、中国、韓国、フランス、ドイツ、イギリス、チリの紹介展示および日本語教室生徒の作品展示、お茶席体験、着物着付け体験など。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【国際交流イベントの共催】2件</p>	<p>A. 成果・効果があった 多文化共生の必要が高まる中、日本人と外国人市民の相互理解が深まる機会の創出、それらの活動を行う団体への支援ができた。</p> <p>外国人も暮らしやすいまちを実現するために、異文化への理解を深めることや、コミュニケーション能力、国際感覚を身につける活動に対し更なる支援を行って行くことが必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進 引き続き、AIRAと連携しながら事業を実施していく。</p>	なし。	企画政策課
172	消費生活展の実施 消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費生活展を開催し、消費者への啓発を図る。	<p>●第47回我孫子市消費生活展 【日程】令和5年2月4日、5日 【場所】あひこ市民プラザ 【テーマ】持続可能な社会を目指して～みんなで取り組もうSDGs 【参加団体】我孫子市消費者の会、あひこ型「地産地消」推進協議会、エコピュアあひこ、NPOせつけんの街、我孫子市石けん利用推進協議会、エコライフあひこ、あひこ女性会議 【来場者数】516名 【対象者】市内外の消費者</p> <p>≪消費生活パネル展≫ 消費生活パネル展の開催 【日程】令和4年8月1日～11日 【場所】アビスタストリート【参加者】1600人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加団体】我孫子市消費者の会、あひこ型「地産地消」推進協議会、エコピュアあひこ、NPOせつけんの街、我孫子市石けん利用推進協議会、エコライフあひこ、あひこ女性会議 【来場者数】2116名</p>	<p>A. 成果・効果があった 令和4年度においては、これまで新型コロナウイルス感染症拡大の影響により規模を縮小し未実施だった催し物を復活させ、科学遊び、プリプリ石けんづくり、ミニコンサート、家庭の省エネ診断コーナー、スタンブラリー等を実施し、来場数も増え、認知度が高まったと考えられる。</p>	<p>A. 現状どおり推進 新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、日常生活の回復に向かい、これまで実施していた事業を推進すべきと考えている。</p>	なし	商業観光課
173	エンジョイ手賀沼 市民団体・事業者・行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントを開催する。	<p>●Enjoy 手賀沼！2022～It's show time!! 遊んで学んで二刀流 with テガヌマ～ 【開催日】令和4年5月8日（日） 【開催場所】手賀沼親水広場 【対象者】どなたでも ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者】4,800人</p>	<p>A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス対策実施のもと3年ぶりの開催となったが、多くの方が来場し、太人から子供まで非常に盛り上がり</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	手賀沼課
174	(No.30再掲) 健康フェア					健康支援づくり
175	(No.45再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催					観手先賀沼博物館の開催

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
176	青少年相談員連絡協議会への支援 青少年相談員連絡協議会が実施する子どもの自主性、協調性を育む事業や会議運営について支援していく。	<p>①Enjoy手賀沼！2022 期日 5月8日(日) 場所 手賀沼親水広場・水の館 主催 「Enjoy手賀沼！」実行委員会 内容 じゃぶじゃぶいけ、プチゲーセン</p> <p>②げんきフェスタ2022 期日 6月19日(日) 場所 湖北地区公民館、湖北小学校体育館 主催 げんきフェスタ2022実行委員会、我孫子市 内容 ポッチャ体験</p> <p>③あびこ子どもまつり 期日 10月16日(日) 場所 我孫子市生涯学習センター アピスタ、手賀沼公園多目的広場 内容 ポッチャ体験 ◆◆指標と実績◆◆ 指標：我孫子市青少年相談員連絡協議会が主催する事業数 目標値：4 実績値：3 ※我孫子市青少年相談員連絡協議会が「具体的な内容」の①～③の各イベント実行委員として参加。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>令和3年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により各事業の中止が続いたが、令和4年度は感染対策を講じながらのイベント実施が再開されたことに伴い、青少年相談員としての活動を行うことができた。</p> <p>青少年相談員の担い手が減少傾向にあるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により事業ができない年が続いたことにより、我孫子市青少年相談員連絡協議会の運営や事業実施を円滑に行うため、所管課としての支援の在り方を検討する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>我孫子市青少年相談員連絡協議会の運営や事業実施を円滑に行うため、所管課としての支援の在り方を検討する。特に新規相談員の募集について協議会とともに役割を分担しながら推進する。</p>	なし	子ども支援課	
177	(No.41再掲) 子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)	※担当課の進行管理による					子ども支援課
178	子育てフェスタ 我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、多世代をつなげるイベントを開催する。	<p>市内在住の乳幼児と保護者を対象の子育て支援施設を市内4か所で開設している。 公立施設・・・我孫子市子育て支援センターにここ広場、湖北台保育園子育て支援センターすまいる広場 私立施設・・・川村学園女子大学附属保育園子育て支援センターかわむらんど、布佐宝保育園子育て支援センターぐるんぱクラブ ●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月2回 【場所】にここ広場 【内容】保健師相談・栄養士相談・歯科衛生士相談 ●プレパパママ講習会(あびこ助産院・あびこ助産師専門学校の協力) 【日程】1月、3月 【場所】にここ広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【場所】にここ広場/年2回・すまいる広場/年1回 ●育児講座(保健師・栄養士による講座及び図書館による読み聞かせ)(外部講師) 【日程】各、年1～2回 【場所】にここ広場 ※すまいる広場は、湖北台保育園の保健師、栄養士、園長による講座を実施 ●リフレッシュ講座 【日程】年に4～5回 【場所】各施設 ◆◆指標と実績◆◆ 【イベントの参加者】 ●ママへのごほうびフェスタ： 1,942人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子育て支援活動の紹介や市内の子育て関連施設を紹介することで、子育てに関する情報提供の場となった。また、ホールでのイベントはヨガや歌あそびコンサートを実施し、保護者のリフレッシュの時間となった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>子育てを楽しめる場や、子育て支援活動等についての情報提供を行っていく。</p>	ママへのごほうびフェスタ名称変更(変更後)あびこで子育て応援フェスタ	保育課	

③多様な学びの活動をつなぐネットワーク  
基本目標 5 学びでつながるま

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
179	179	<b>学校評議員設置事業</b>  小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	学校が、保護者や地域住民等の信頼に答え、家庭や地域と連携して一体となって子供たちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため会議を開催した。 <b>【開催場所】</b> 市内全小中学校 19校 <b>【日程】</b> 第1学期(4～7月)に1回、第2学期(9～12月)に2回、第3学期(1～3月)に1回、年間4回実施 <b>【対象】</b> 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5～8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加  ◇◆指標と実績◆◇ 市内各小中学校19校で、年4回実施。 評議員数 小学校 71人 中学校 35人	A. 成果・効果があった  各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等それぞれの立場から、社会情勢と学校教育を結び付け考えた意見を出してもらい、学校経営に生かすことができた。	C. 廃止・休止	なし	学校教育課	
		<b>大学との協定による学校支援 学生ボランティア事業</b>  高等学校への協力要請や大学との協定締結によって、学生ボランティアを小中学校における学習補助や行事等の支援者として派遣依頼し、子ども達の豊かな学びを実現するとともに、教員を目指す人材の育成を図る。	<b>【日程】</b> 通年 <b>【場所】</b> 市内各小中学校 <b>【内容】</b> 学習支援、行事支援、部活動指導補助など <b>【対象】</b> 小中学校の児童生徒 <b>【派遣状況】</b> <b>【大学別実働人数】</b> ≪川村学園女子大学≫ 93人 ≪中央学院大学≫ 74人 ≪その他の大学・高校≫ 251人 ◇◆指標と実績◆◇ <b>【従事人数】</b> 350人	A. 成果・効果があった  市内の2大学については、教員養成課程を担当する教員やボランティアに関する授業単元を担当している教員が窓口となり、連携に向けて教育委員会との連絡を密にとっている。また、我孫子高校は教員養成課程の生徒を中心に積極的に活動、我孫子東高校は近隣の小中学校での支援に携わるなど、コロナ禍で減少した実績を回復しつつあり、児童・生徒はもちろん、学校にとっても大切な役割を果たしている。  市内の2大学や我孫子高校が市の西地区に位置していることもあり、交通費も支給できないことから、ボランティアが西地区の小中学校に偏りがちである。同様の理由で市外の大学からのボランティア希望者が少ない。また、全体として学生の人数が減少していることに加え、教員を志す学生も減少していることは来年度、再来年度に向けての懸案事項である。	A. 現状どおり推進	学生ボランティア募集のチラシを新たに作成し、市外の大学に送付した。また、新たに市外の理系大学や外国語系学部をもつ大学との連携を模索している。		指導課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	181	<b>キャリア教育の推進（小中学生の職場体験学習事業）</b>  子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合って職場体験学習を実施する。	<b>●職場体験学習</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を中止。例年は、全ての中学校で職場体験学習を実施している。  <b>●特別活動を要としたキャリア教育</b> 「我孫子市キャリア・パスポート」を全小中学校にて完全実施し、教育活動の全てをとおしてキャリア教育を実施。  <b>●キャリア教育担当者会議</b> 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年1回5月に実施する。 <b>◆◆指標と実績◆◆</b> 【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】 19校  【協力職場数】 0箇所(令和4年) 0箇所(令和3年) 0箇所(令和2年) 480箇所(令和元年)	<b>A. 成果・効果があった</b>  小中一貫教育及び新たに作成した「我孫子市キャリア・パスポート」の完全実施により、教育活動の全てを通してキャリア教育を推進しており、発達段階に応じたキャリア教育が浸透してきている。  各中区ごとの連携を今以上に図り、より深い学びのあるキャリア教育を行うためにはどのような方法があるかを見出し、検討していく必要がある。また、積極的に地域学校協働活動推進員の力など借り、協力企業の募り方やキャリア教育の展開を工夫していく必要がある。	<b>B. 改善・見直しを行う</b>  地域学校協働活動推進員や地域の力を借り、教員の負担を減らしながらも、児童生徒が充実した活動を行えるように工夫をしていく必要がある。	今年度は各中学校で職場体験をコロナ前のように展開していく予定。	指導課	
	182	<b>生涯学習審議会の運営</b>  生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	<b>●生涯学習審議会会議</b> <第1回> 令和4年7月26日(火) <b>【議事】</b> 1 会長及び副会長の選任について 2 「文化交流拠点施設」モニターアンケート結果について <第2回> 令和5年2月8日(水) <b>【議事】</b> 1 生涯学習推進計画 実施事業 事業調査について 2 図書館運営のあり方 サービス別予定事業について 3 スポーツ推進計画について  <b>◆◆指標と実績◆◆</b> <b>【審議会開催数】</b> 2回	<b>A. 成果・効果があった</b>  図書館運営のあり方 サービス別予定実施事業及びスポーツ推進計画を策定した。	<b>A. 現状どおり推進</b>	なし	生涯学習課	
	183	(No.126再掲) <b>市外図書館・大学・関係機関との連携協力</b>						図書館
184	<b>図書館実習生受入・施設見学</b>  中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	<b>○&lt;&lt;職場体験学習&gt;&gt;&lt;&lt;キャリア教育&gt;&gt;&lt;&lt;インターンシップ&gt;&gt;&lt;&lt;施設見学・町探検&gt;&gt;等を受け入れた。</b> <b>&lt;事業&gt;</b> ○アビスタ探検隊(市内小学校3年生対象) 8校 565人 ○町たんけん・町はっけん(市内小学校2年生) 2回 27人 ○施設見学 5団体 101人 ○インターンシップ・キャリア教育・職場体験(中学生、高校生、大学生) 9人 ○体験研修(教員) 1人  <b>◆◆指標と実績◆◆</b> <b>【アビスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】</b> 703人(前年度 863人)	<b>A. 成果・効果があった</b>  コロナ禍は続いているが、感染対策を施しコロナ禍前の受入実施に戻ってきた。将来の進路や社会活動の参考となるように、小中学生のキャリア教育、高校生や大学生のインターンシップ、施設見学等を受け入れ、若い市民が貴重な経験を得られる機会を創出できた。教員の体験研修を受け入れることで学校とのつながりが継続できるようになっている。  図書館業務には専門的なものもあり、年齢等に応じてより興味がわくように、実務的な体験プログラムを組む必要がある。	<b>A. 現状どおり推進</b>  キャリア教育の一環として実施されている体験学習の重要性はますます高まっている。将来の進路や職業選択の参考となるよう、これからも市民を支援していくことは必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。	なし	図書館		

NO	事業名 趣旨・目的	令和4年度実施内容			令和5年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築 基本目標 5 学びでつながるまちづくり	185	<p>山階鳥類研究所との連携・交流</p> <p>テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。</p> <p>《鳥のサイエンストーク》 山階鳥類研究所研究員と鳥の博物館学芸員による月例の講演会。鳥類に関する研究紹介と質疑応答を行う。9月と11月を除く毎月原則第3土曜日の13:30～14:15に開催。新型コロナウイルス感染症拡大により令和2年度からオンラインセミナー形式で実施。令和4年度から「テーマトーク」から「鳥のサイエンストーク」に名称変更した。 【最大同時視聴者数】合計820人 ・4月17日「目に見えるものだけを信じるな～奄美大島の絶滅危惧種オオトサヅグミの美の特徴～」【最大同時視聴者数】94人 ・5月21日「潮目が変わる!?ガン類追跡の今」【最大同時視聴者数】101人 ・6月18日「日本に渡ってくるハマシギはどこから来るのか?-DNA分析から繁殖集団を推定する-」【最大同時視聴者数】87人 ・7月16日「明治期の標本が語る―南鳥島の話」【最大同時視聴者数】62人 ・8月20日「鳥にまつわる法律のハナシ」【最大同時視聴者数】106人 ・10月15日「手賀沼の鳥を調べる―個体数モニタリングと鳥類相-」【最大同時視聴者数】46人 ・12月24日「鳥の学術標本作り・中級編―中型の海鳥を作ろう-」【最大同時視聴者数】102人 ・1月21日「アホウドリをはじめとした鳥島で繁殖する海鳥の近況」【最大同時視聴者数】79人 ・2月18日「ヤンバルクイナを真の遺産とするために」【最大同時視聴者数】58人 ・3月19日「眉の薄いエナガはどこにいる?」【最大同時視聴者数】85人</p> <p>《鳥学講座》 毎年ジャパンバードフェスティバルのエントリーイベントとして実施。令和4年度は我孫子駅南口アビーホールを会場として実施した。 【日程】11月5日(土)【参加者数】118人 【内容】「江戸の鳥の美食学―環境破壊や乱獲がもたらした野鳥食文化の衰退-」 【講師】菅豊氏(東洋文化研究所教授) ◇◆指標と実績◆◇ 【共催した講座等の数】 指標: 11回 実績: 11回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>協力関係にある山階鳥類研究所の研究成果と研究の面白さを、分かりやすく市民に紹介することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	鳥の博物館	
	187	<p>学校運営協議会制度の活用</p> <p>市内小中学校19校に学校運営協議会を令和5年4月1日付で設置。学校運営協議会委員を令和4年4月1日付で任命(169人)。任期2年。</p> <p>＜学校運営協議会会議＞ 【会議の開催数】4回(うち、中学校区で合同開催を含む) 【場 所】各小中学校(中学校区での合同開催の場合 中学校区会場) 【内 容】 ・各学校運営の基本方針の承認 ・中学校区小中一貫教育の基本方針(グランドデザイン)の見直し ・各学校及び中学校区における課題等の共有・協議 ・各学校における学校評価 ・次年度中学校区小中一貫教育の基本方針(グランドデザイン)の承認 等</p> <p>＜市教委主催研修会＞ ・学校運営協議会委員任命式・研修会(4月) 対象 学校運営協議会委員 会場 コホミン ・学校運営協議会管理職研修会(6月) 対象 各学校管理職(主に校長) 会 場 教育委員会 ・学校運営協議会委員研修会(8月) 対象 学校運営協議会委員 会 場 コホミン ◇◆指標と実績◆◇ 本事業単独での指標設定なし</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>学校運営協議会会議において、各学校の実態や課題等について、共有することができた。 学校運営協議会の役割等について、研修等の実施により学校運営協議会委員の理解が進んだ。 事務機器の整備により、自立的な組織運営のための土台ができた。</p> <p>学校運営協議会が自立した組織として運営するためには、一層の委員の意識の向上が必要である。 児童生徒の学びの充実、学校運営の改善に向けて、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進について、理解促進が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>学校運営協議会会議において、学校運営の基本方針、小中一貫教育の基本方針をもとに、児童生徒の学びの充実、学校運営の改善に向けて協議を行う。また地域学校協働活動の内容を共有し、小中一貫教育の充実の観点からも内容の見直しや改善を図る。</p>	なし	指導課	